国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症サーベイランス研究部

Japan Institute for Health Security/National Institute of Infectious Diseases/Department of Infectious Disease Surveillance

急性呼吸器感染症サーベイランス週報:

2025 年第 15 週(2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日)

Acute Respiratory Infection Surveillance Weekly Report: Epidemiologic Situational Awareness

Week 15, 2025

本報は全国から報告された急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection、以下、ARI という)のサーベイランス報告を精査してまとめています。ARI、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、小児科および内科からなる急性呼吸器感染症定点から、RS ウイルス感染症、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、小児科定点から報告されています。週ごとの「傾向(トレンド)」と「水準(レベル)」を踏まえ、感染の流行の状況について、解釈を行っています。地方自治体等で感染症対策に従事する皆様や国民の皆様に、広く疫学情報を提供・還元することを目的としています。巻末に本報に関する注意事項を記載してあります。なお報告数は暫定値であり、変更の可能性があることにご注意下さい。

今週の状況(概要):

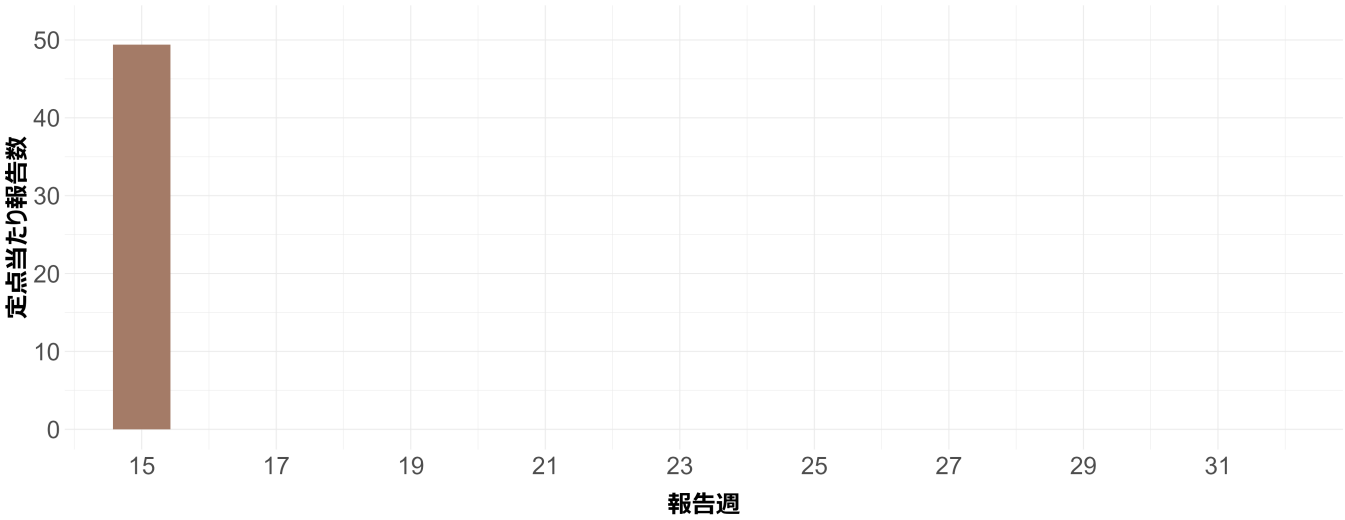
急性呼吸器感染症サーベイランスが 2025 年第 15 週より開始された。急性呼吸器感染症定点が新たに設定され、2025 年第 15 週(4 月 7 日～4 月 13 日)における ARI の定点当たり報告数は 49.38(報告数 181,270 例)であった。インフルエンザは 1.19、COVID-19 は 2.10、RS ウイルス感染症は 0.93、咽頭結膜熱は 0.25、ヘルパンギーナは 0.02、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2.12 であった。

病原体サーベイランスとして報告された病原体の陽性数は、インフルエンザウイルス A 型が 1 件、インフルエンザウイルス B 型が 1 件、SARS-CoV-2 が 6 件、RS ウイルスが 2 件であった。

1. 患者サーベイランス
1.1. 全国の定点当たり報告数

2025 年第 15 週(4 月 7 日～4 月 13 日)における ARI は、3,671 カ所の急性呼吸器感染症定点から報告され、定点当たり報告数は 49.38(報告数 181,270 例)であった(図 1)。
急性呼吸器感染症定点から報告されたインフルエンザは 1.19(報告数 4,621 例)、COVID-19 は 2.10(報告数 8,138 例)であった(図 1A)。なお、報告定点数は 3,868 カ所であった。
小児科定点から報告される RS ウイルス感染症は 0.93(報告数 2,205 例)、咽頭結膜熱は 0.25(報告数 594 例)、ヘルパンギーナは 0.02(報告数 40 例)、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 2.12(報告数 5,020 例)であった(図 1B)。なお、報告定点数は 2,371 カ所であった。

図 1: 週ごとの ARI の定点当たり報告数



出典: 感染症発生動向調査(2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日)

図 1A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の定点当たり報告数

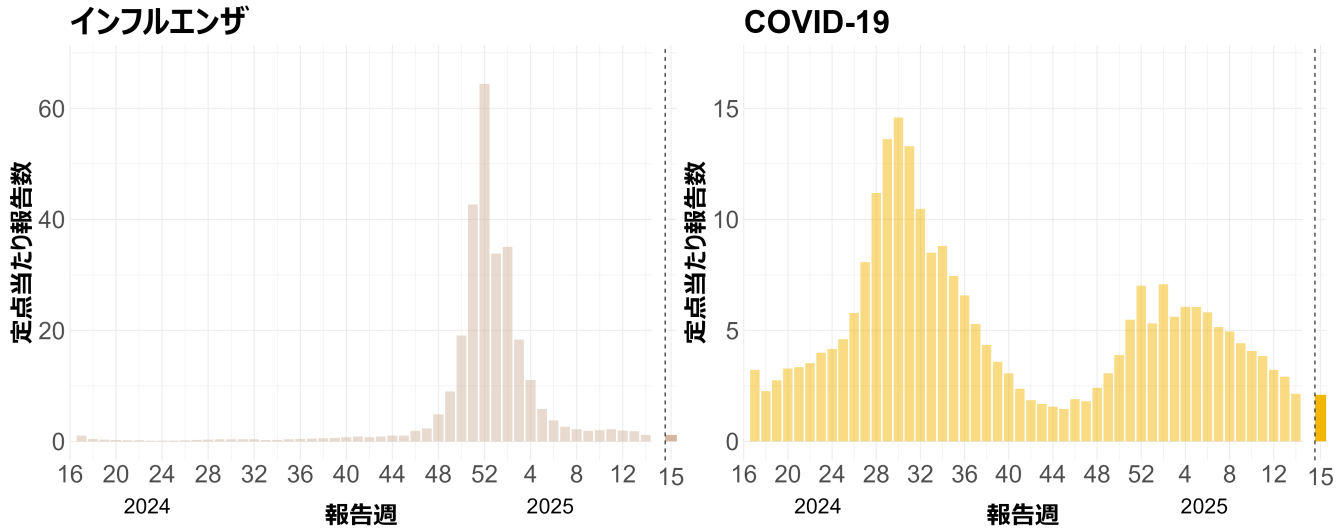
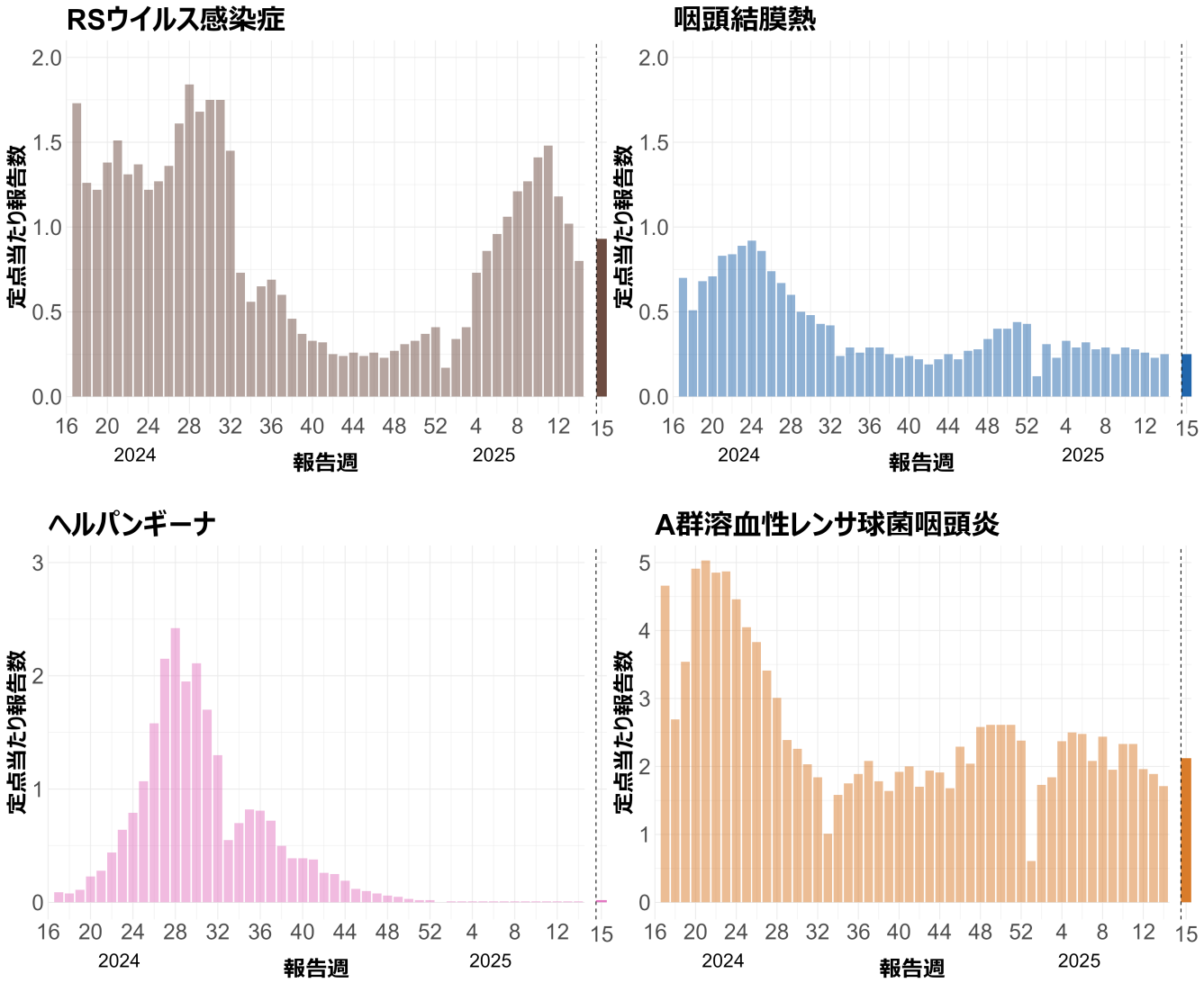


図 1B: 週ごとの感染症別の定点当たり報告数



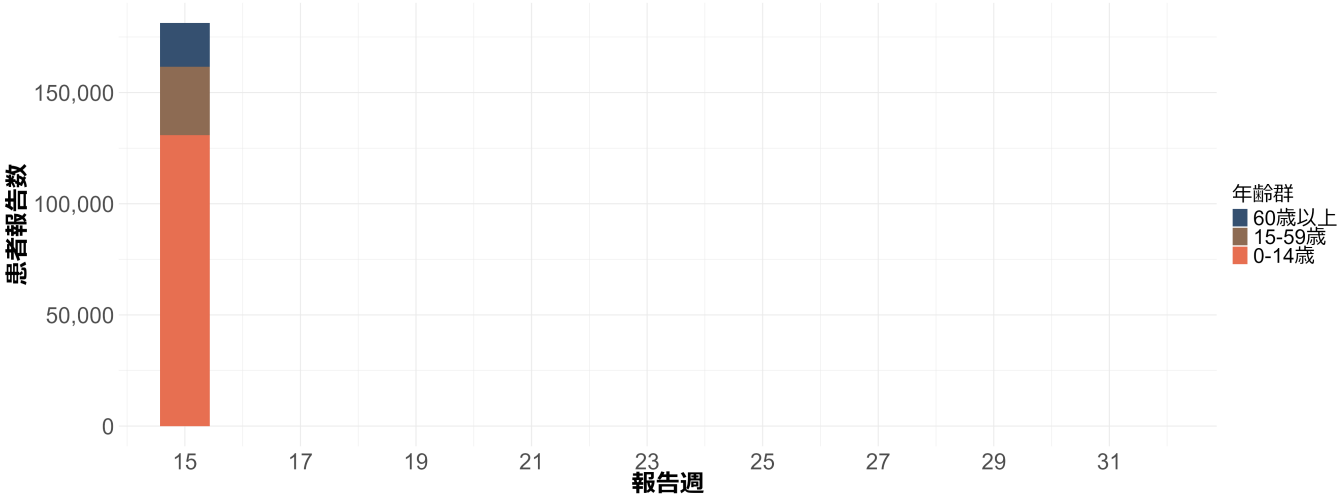
出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2024 年 4 月 15 日～2025 年 4 月 13 日）

注）報告数は、当該週の IDWR で還元したデータの再掲である。
注）定点数の変更をうけて、2025 年第 14 週と第 15 週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。
注）2025 年 4 月 7 日（第 15 週）より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点（約 5,000 医療機関）から急性呼吸器感染症定点（約 3,000 医療機関）に変更、小児科定点は約 3,000 医療機関から約 2,000 医療機関に変更された。

1.2. 全国の年齢群別報告数

2025 年第 15 週に定点から報告された ARI の報告数を、年齢群別にみると 0-9 歳では 117,956 例、10-59 歳では 43,693 例、60 歳以上は 19,621 例であった（図 2）。
各感染症の年齢群別報告数は、インフルエンザは 60 歳以上に比べ 0-9 歳および 10-59 歳の割合が高いのに対し、COVID-19 は 60 歳以上に比べ 10-59 歳の割合は高かったが、0-9 歳は低かった。
RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナは1-4歳での報告が最も多く、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 5-14 歳 の報告が最も多かった（図 2A、図 2B、表 1A、表 1B）。

図 2: 週ごとの ARI の年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

図 2A: 週ごとのインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

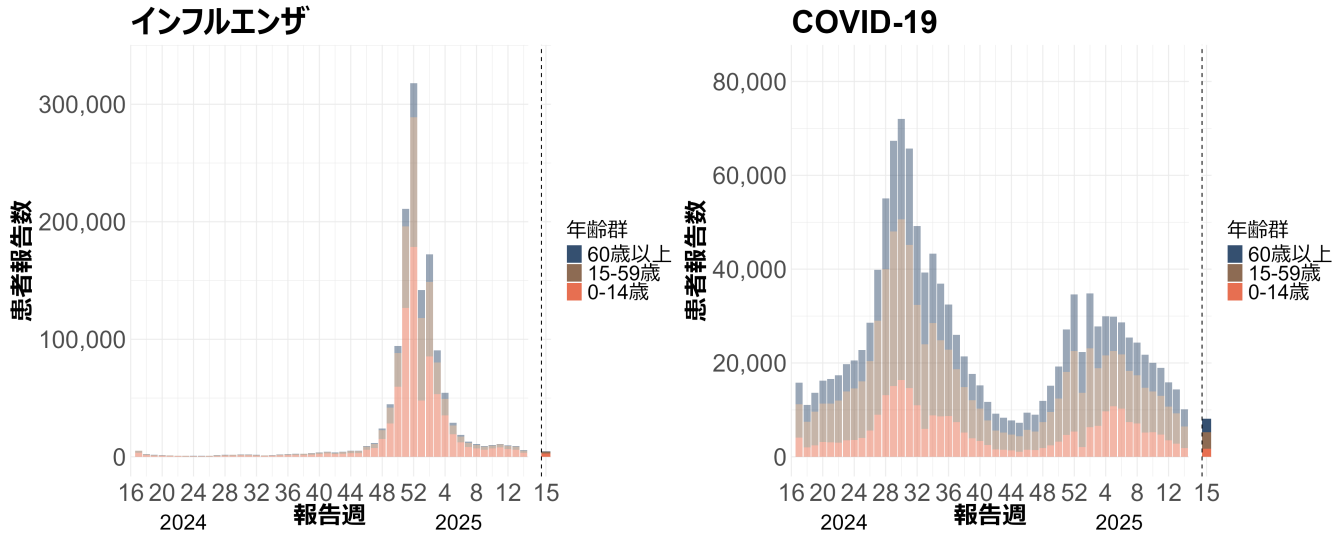
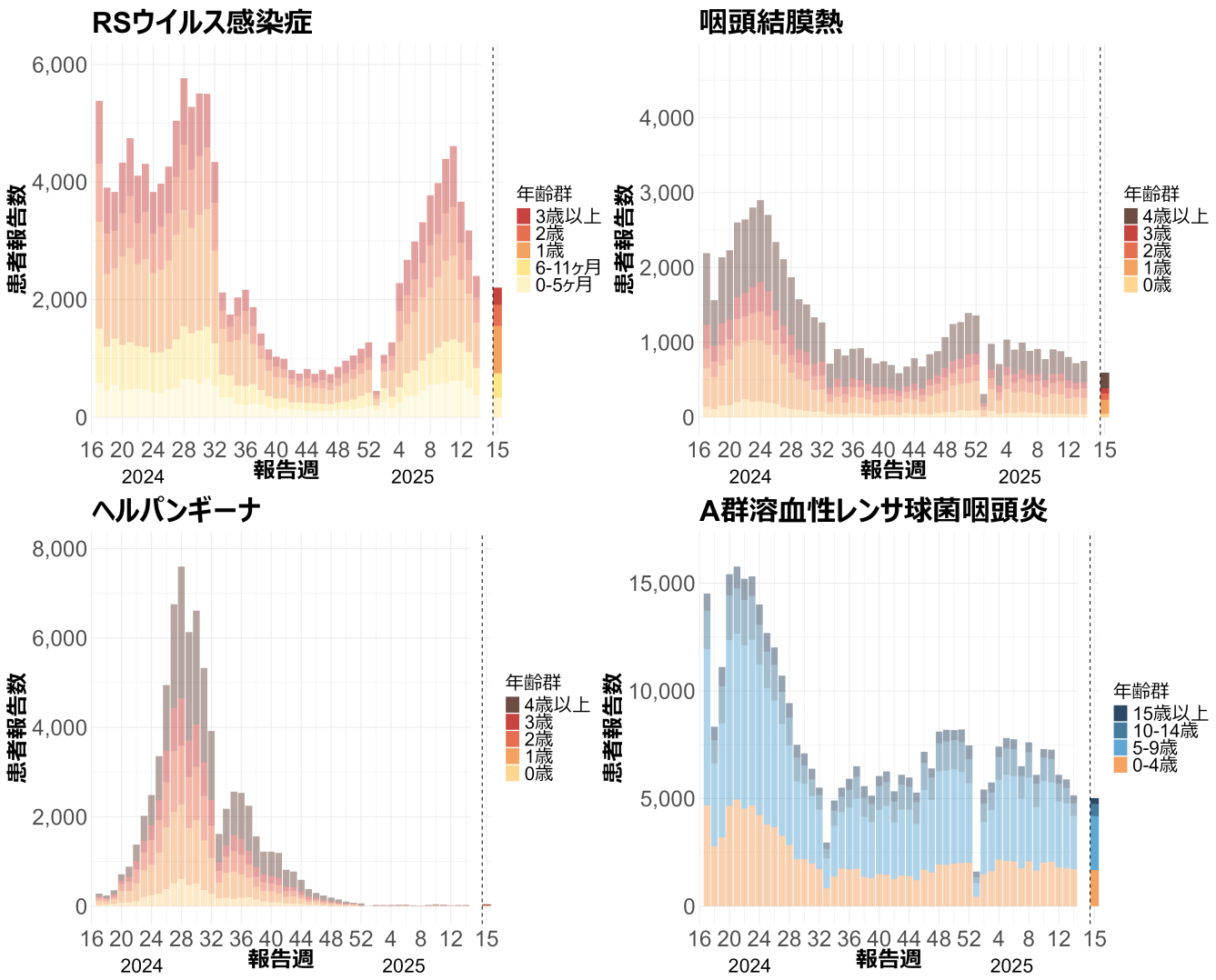


図 2B: 週ごとの感染症別の年齢群別報告数



出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2024 年 4 月 15 日～2025 年 4 月 13 日）

注）報告数は、当該週の IDWR で還元したデータの再掲である。
注）定点数の変更をうけて、2025 年第 14 週と第 15 週の間にスペースと点線を入れ、棒グラフに濃淡をつけて区別している。
注）2025 年 4 月 7 日（第 15 週）より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点（約 5,000 医療機関）から急性呼吸器感染症定点（約 3,000 医療機関）に変更、小児科定点は約 3,000 医療機関から約 2,000 医療機関に変更された。

表 1A: 当該週におけるインフルエンザおよび COVID-19 の年齢群別報告数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	2,178	1,390
	(—)	(—)
10-59 歳	2,185	3,872
	(—)	(—)
60 歳以上	258	2,876
	(—)	(—)
計	4,621	8,138
	(—)	(—)

表 1B: 当該週における感染症別の年齢群別報告数

年齢群	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
0 歳	750	45	7	35
	(—)	(—)	(—)	(—)
1-4 歳	1,371	404	19	1,643
	(—)	(—)	(—)	(—)
5-14 歳	70	120	11	3,068
	(—)	(—)	(—)	(—)
15 歳以上	14	25	3	274
	(—)	(—)	(—)	(—)
計	2,205	594	40	5,020
	(—)	(—)	(—)	(—)

出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

注）カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週の IDWR で還元したデータを用いた。
注）前週の報告数が 0 であった場合は、前週比の欄に「—」と表記。

1.3. 都道府県別の定点当たり報告数

2025 年第 15 週の ARI の定点当たり報告数の上位 3 都道府県は、栃木県が 94.13 で最も多く、次いで秋田県が 93.43、さらに岩手県が 86.93 であった（表 2）。定点当たり報告数が 80 を上回った都道府県は 3 件であった（図 3A）。定点当たり報告数は 27.37～94.13 であった。
定点当たり報告数が多かった上位 3 都道府県は、インフルエンザでは秋田県、沖縄県、富山県であった。COVID-19 では新潟県、徳島県、山形県であった。いずれも定点当たり報告数が 10 を上回った都道府県はなかった（図 3B、表 3）。RSウイルス感染症では鹿児島県、宮崎県、愛媛県であった。咽頭結膜熱では鹿児島県、宮崎県、岩手県であった。ヘルパンギーナでは滋賀県、長崎県、大分県が同値であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では茨城県、愛媛県、栃木県であった。

表 2: 当該週における都道府県別 ARI の定点当たり報告数

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
北海道	7,908	48.81	—
青森県	2,313	46.26	—
岩手県	3,738	86.93	—
宮城県	3,622	65.85	—
秋田県	2,149	93.43	—
山形県	2,788	73.37	—
福島県	2,549	54.23	—
茨城県	3,996	58.76	—
栃木県	4,424	94.13	—
群馬県	3,179	72.25	—
埼玉県	9,747	62.88	—
千葉県	8,379	56.61	—
東京都	16,744	44.65	—
神奈川県	12,187	56.16	—
新潟県	3,398	65.35	—
富山県	3,283	71.37	—
石川県	2,598	54.13	—
福井県	1,771	45.41	—
山梨県	1,168	33.37	—

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
長野県	3,954	48.81	—
岐阜県	1,718	39.95	—
静岡県	3,814	27.44	—
愛知県	7,904	50.67	—
三重県	2,637	37.67	—
滋賀県	2,067	40.53	—
京都府	2,560	41.97	—
大阪府	9,807	33.70	—
兵庫県	6,597	43.98	—
奈良県	1,577	39.43	—
和歌山県	1,608	35.73	—
鳥取県	1,623	55.97	—
島根県	956	50.32	—
岡山県	2,536	50.72	—
広島県	3,817	41.95	—
山口県	3,474	55.14	—
徳島県	1,240	36.47	—
香川県	1,542	39.54	—
愛媛県	2,749	72.34	—
高知県	1,040	27.37	—
福岡県	4,267	35.56	—
佐賀県	1,343	58.39	—
長崎県	3,378	66.24	—
熊本県	3,117	45.17	—
大分県	2,861	49.33	—
宮崎県	1,517	54.18	—

都道府県	報告数	定点当たり報告数	前週比
鹿児島県	3,345	58.68	—
沖縄県	2,281	50.69	—

出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

注）前週の報告数は、当該週の IDWR で還元したデータを用いた。
注）前週の報告数が 0 であった場合は、前週比の欄に「—」と表記。

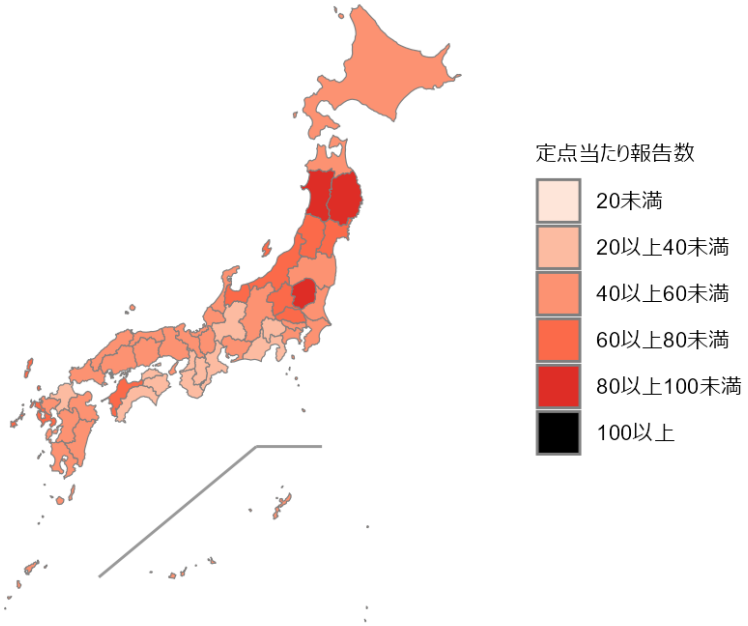
表 3: 当該週における感染症別定点当たり報告数の上位 3 都道府県

順位		インフルエンザ	COVID-19	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	ヘルパンギーナ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
1	都道府県	秋田県	新潟県	鹿児島県	鹿児島県	滋賀県	茨城県
	定点当たり報告数	4.72	4.96	3.06	1.03	0.06	4.71
2	都道府県	沖縄県	徳島県	宮崎県	宮崎県	長崎県	愛媛県
	定点当たり報告数	2.51	3.97	2.27	0.60	0.06	4.57
3	都道府県	富山県	山形県	愛媛県	岩手県	大分県	栃木県
	定点当たり報告数	2.43	3.79	2.14	0.57	0.06	4.41

出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

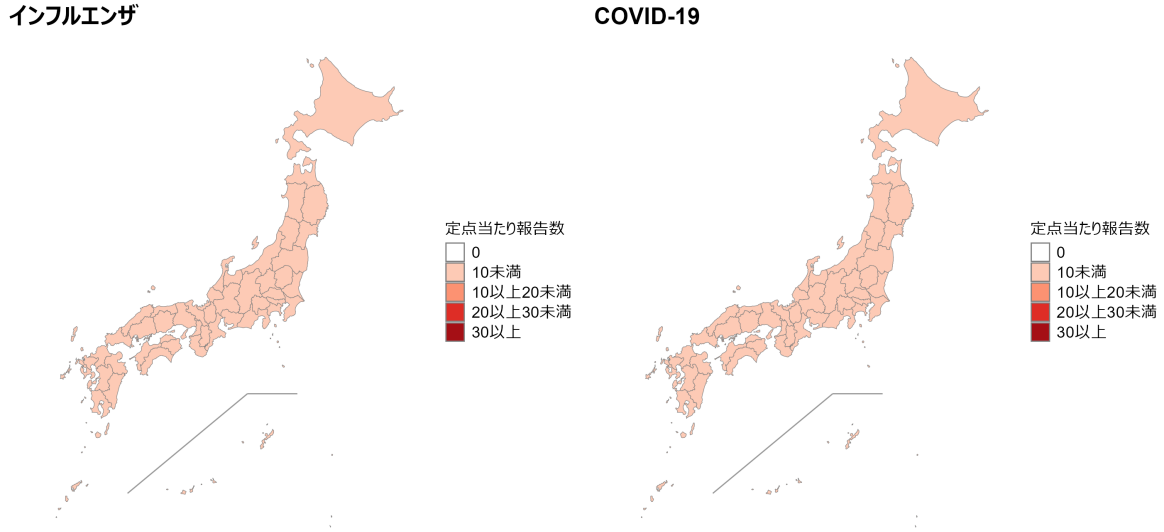
注）定点当たり報告数が同値であった場合には、都道府県番号の昇順により記載。

図 3A: 当該週における都道府県別 ARI の定点当たり報告数

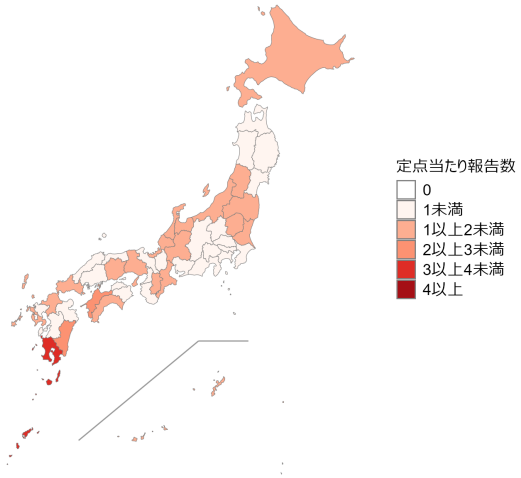


出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

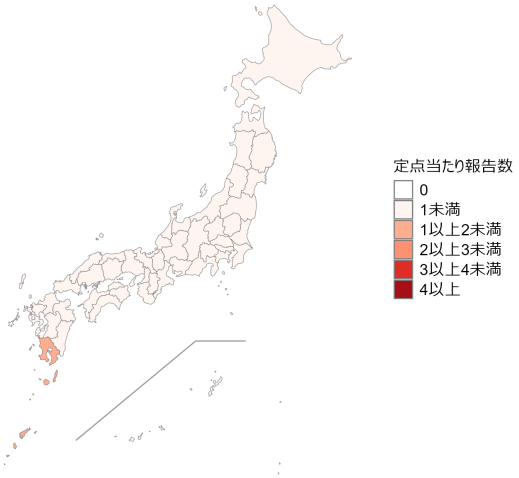
図 3B: 当該週における各感染症の都道府県別定点当たり報告数



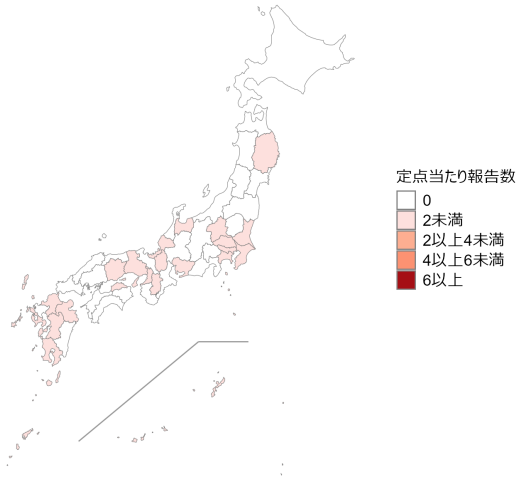
RSウイルス感染症



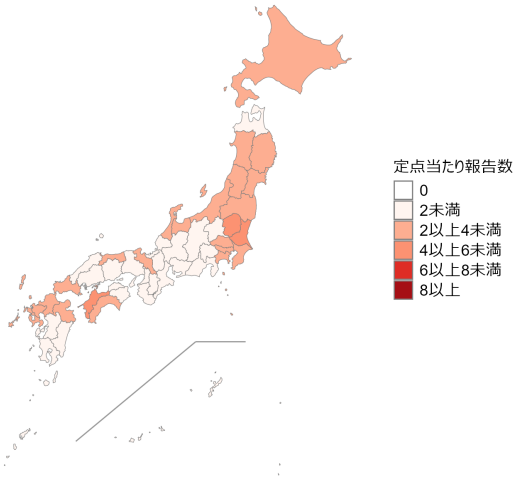
咽頭結膜熱



ヘルパンギーナ

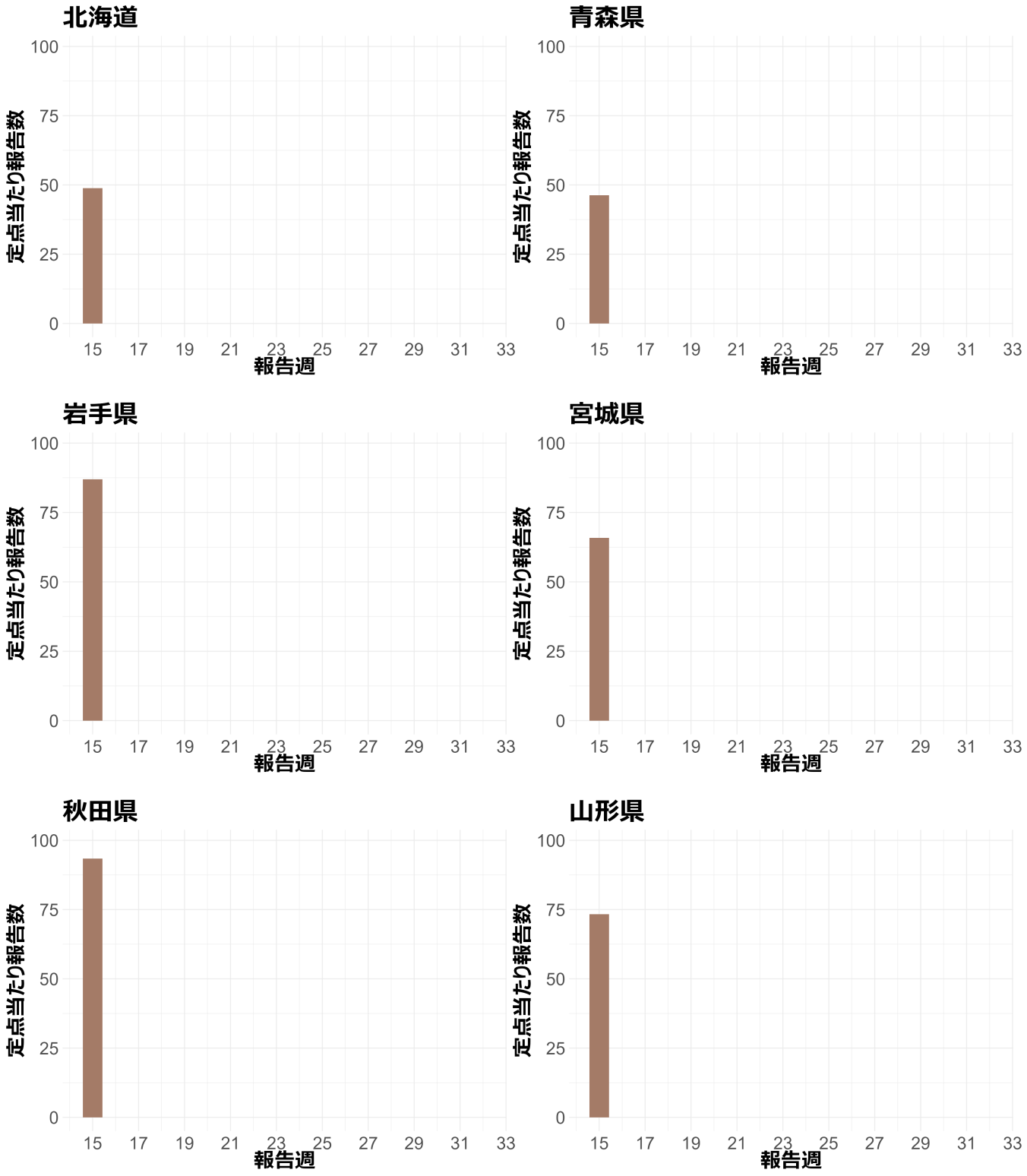


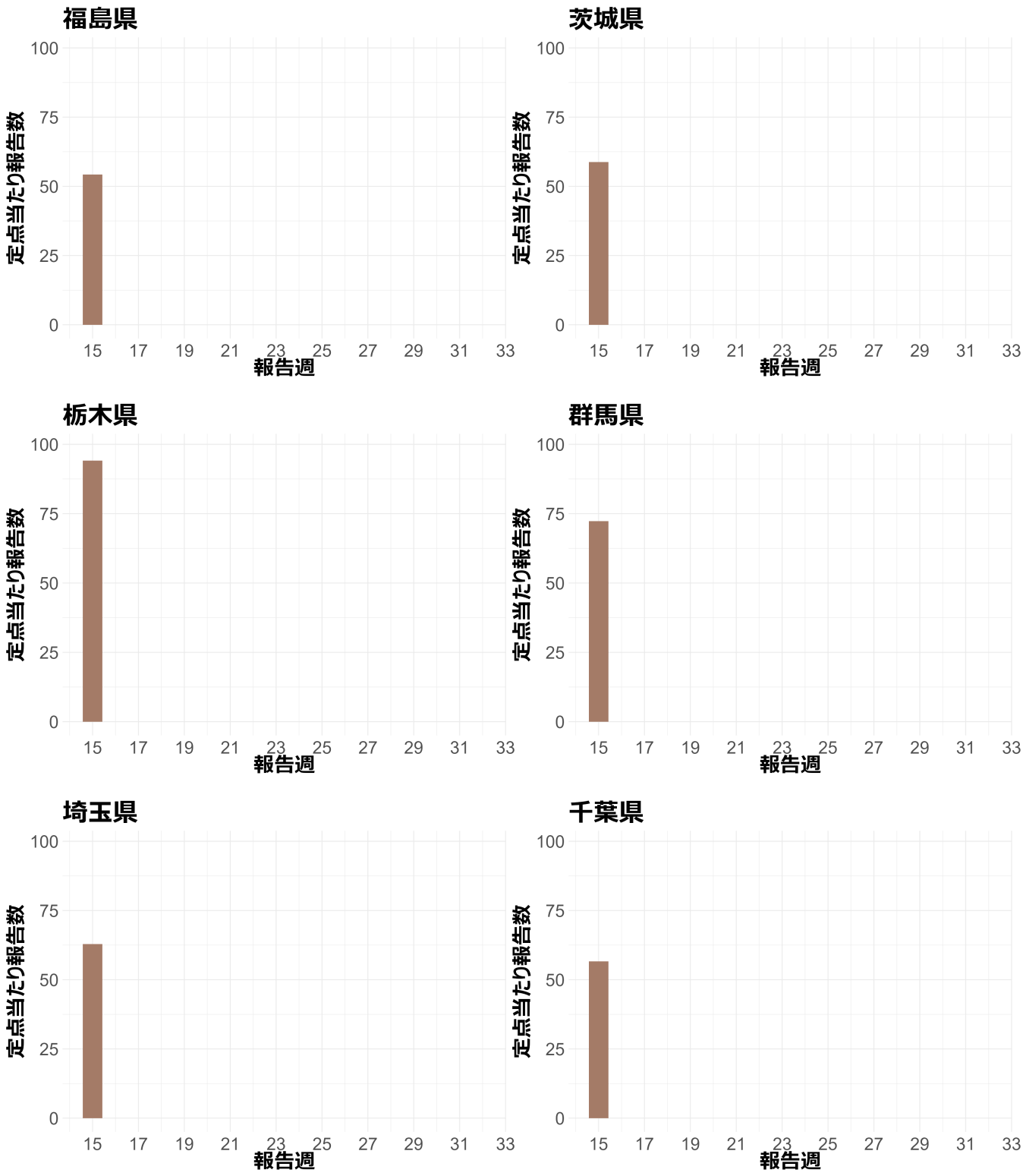
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

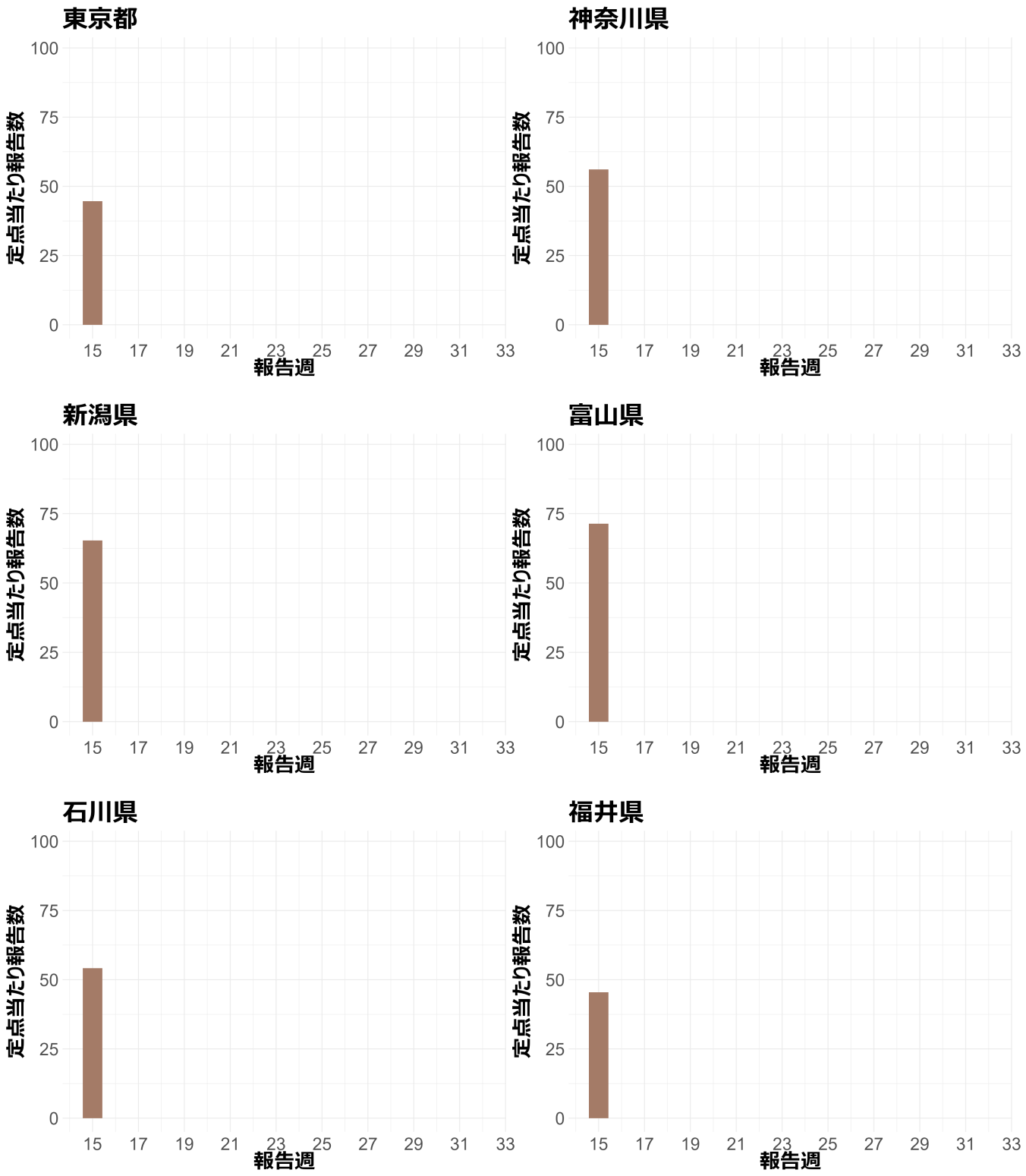


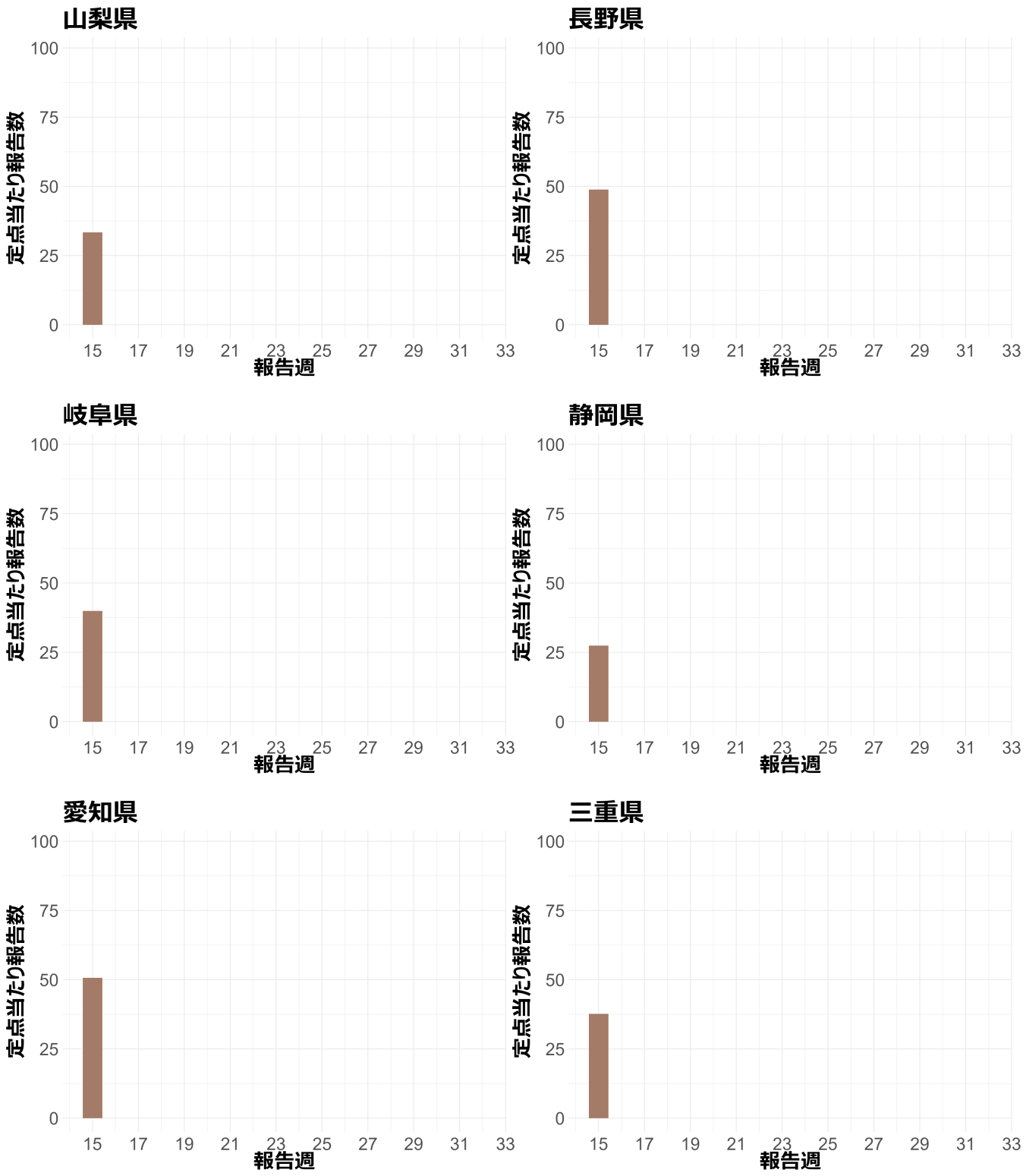
出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

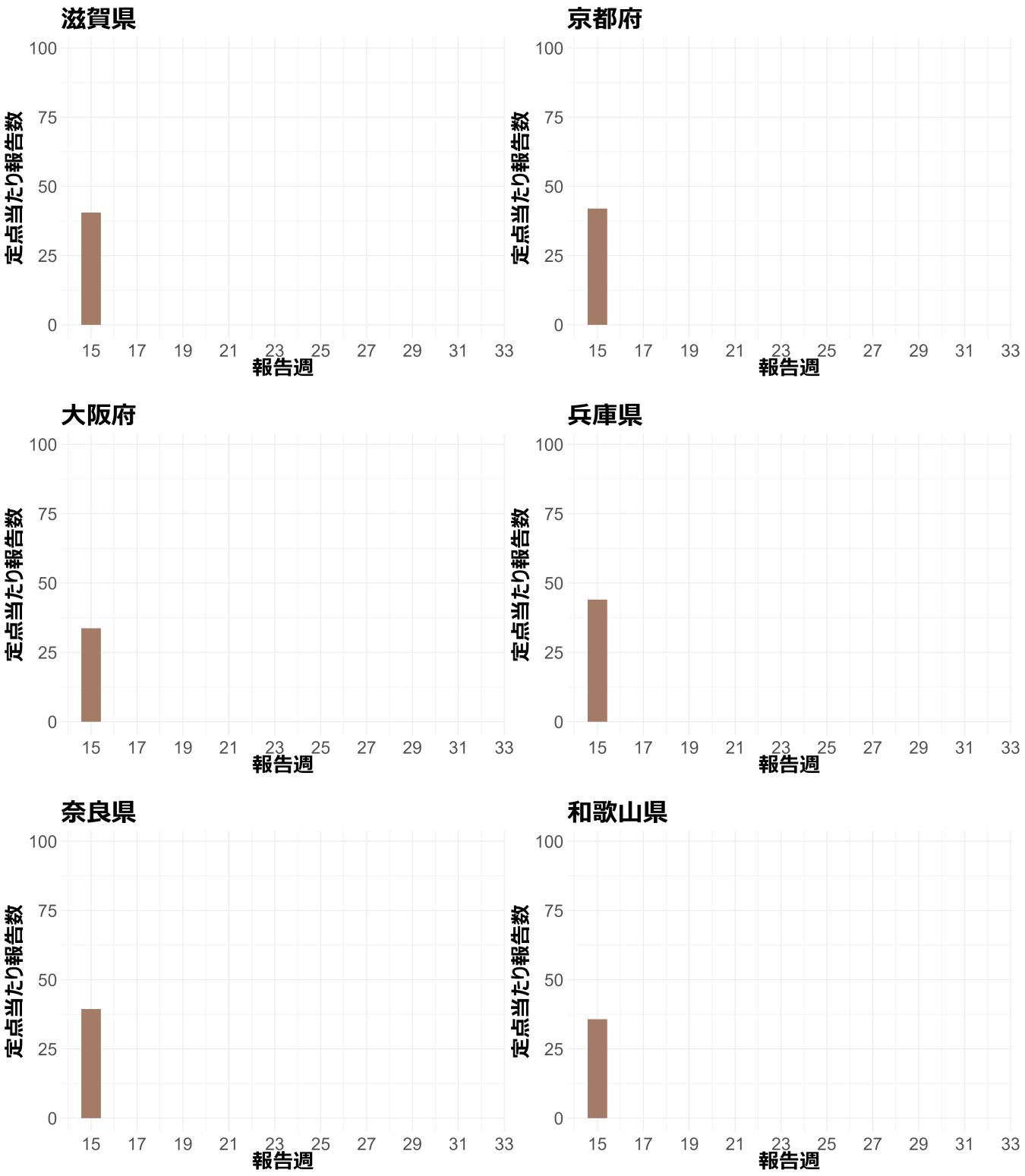
図 4: 週ごとの都道府県別 ARI の定点当たり報告数

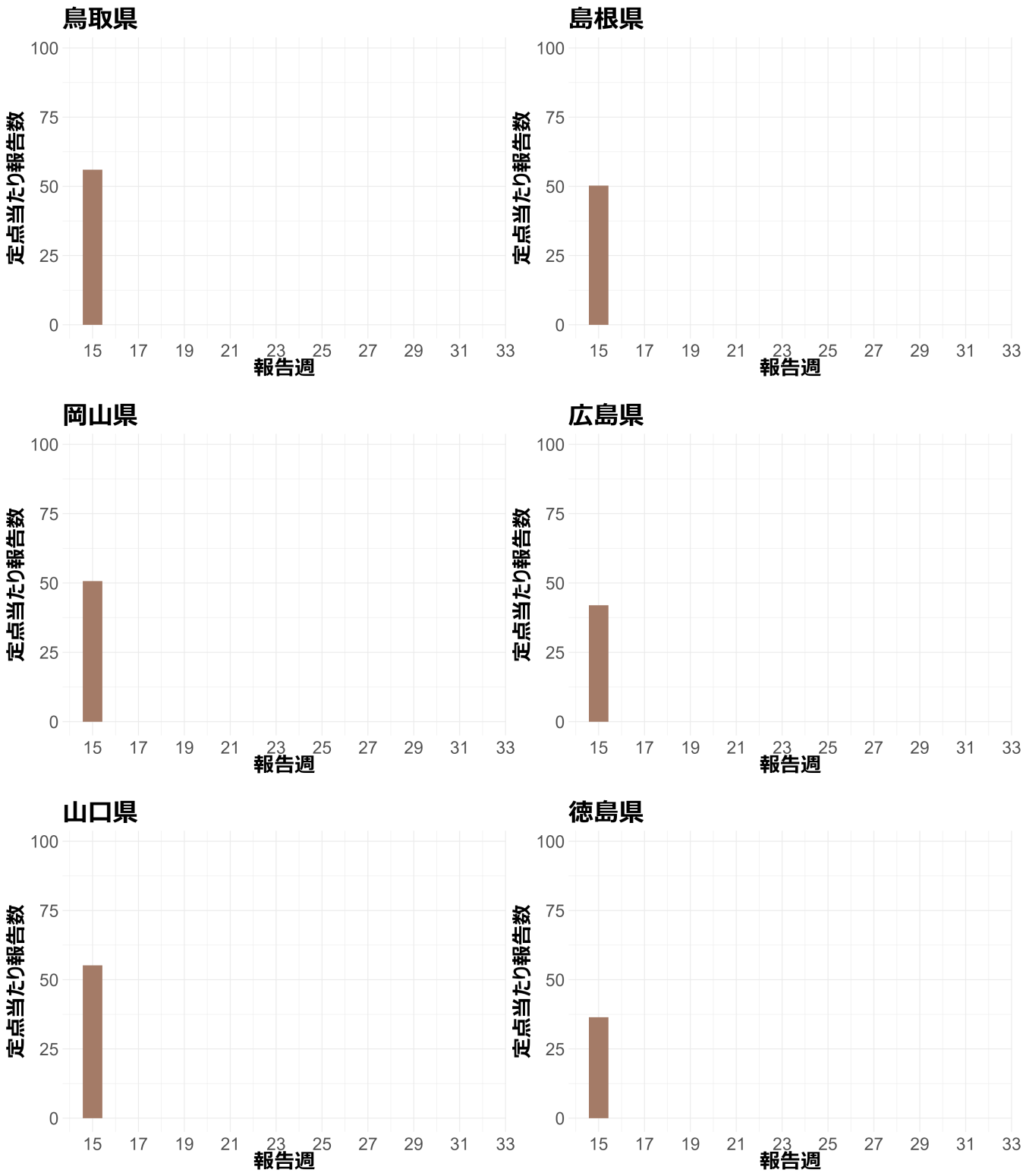


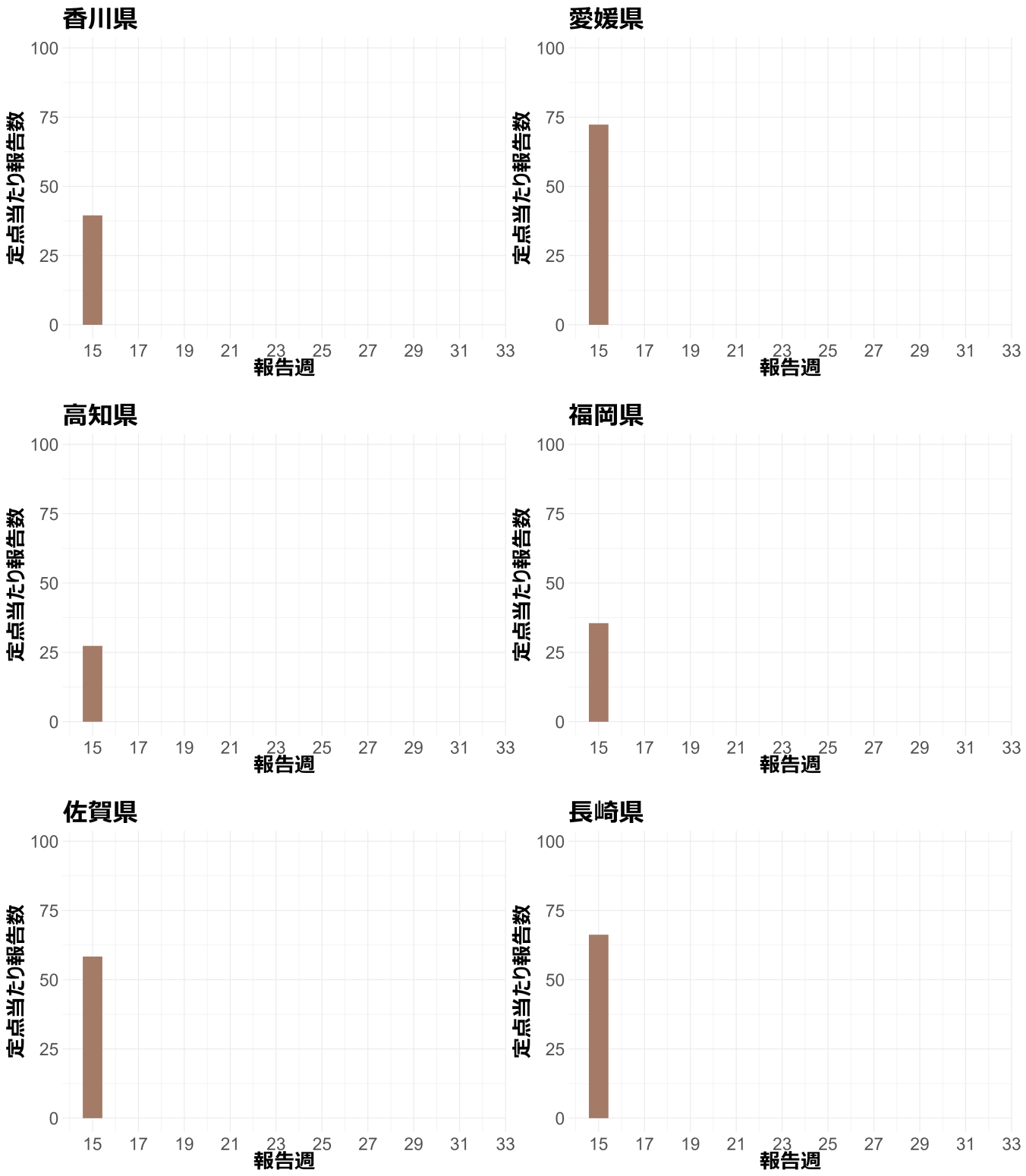

福島県
茨城県
栃木県
群馬県
埼玉県
千葉県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33

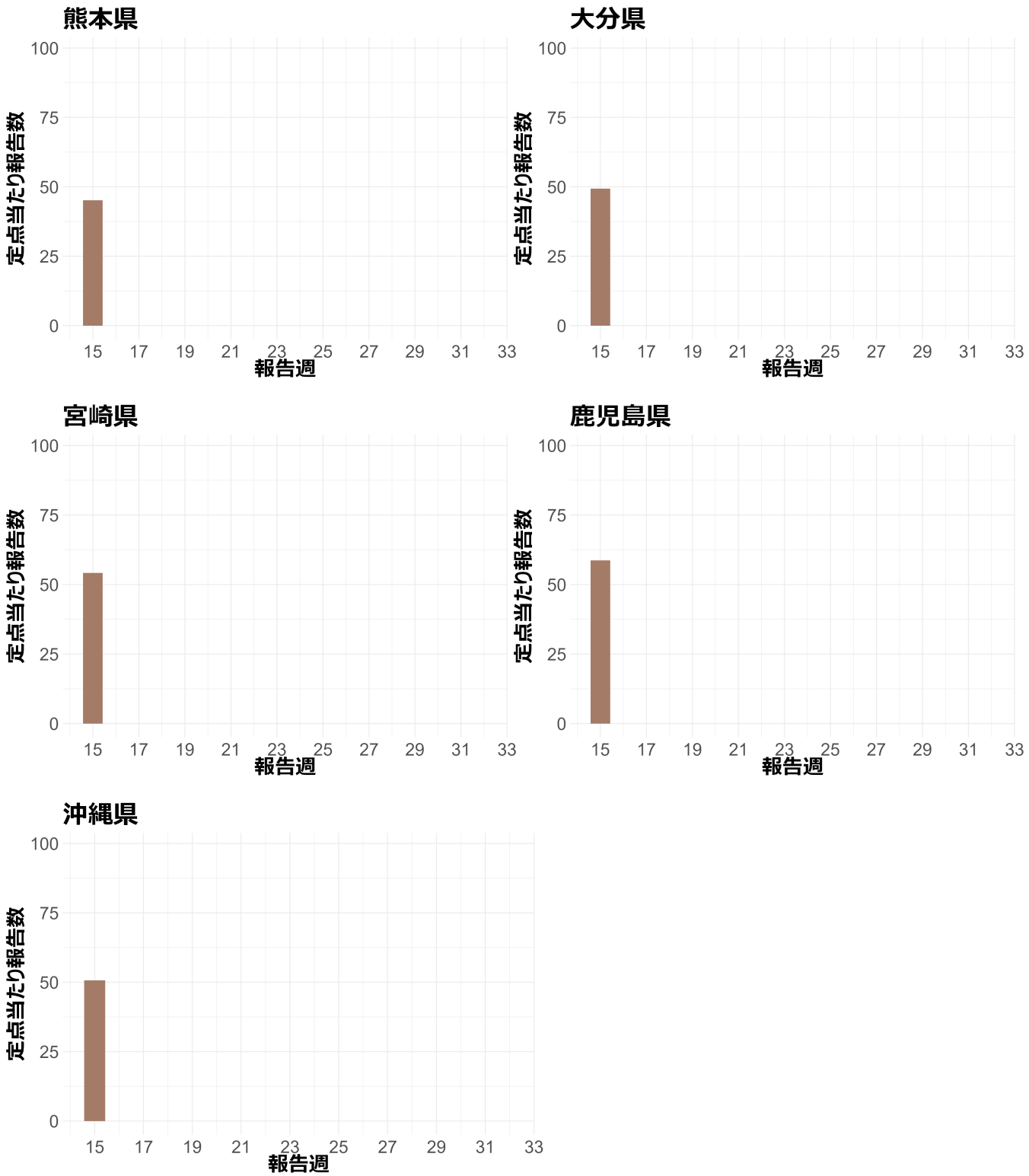

東京都
神奈川県
新潟県
富山県
石川県
福井県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33


山梨県
長野県
岐阜県
静岡県
愛知県
三重県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33


滋賀県
京都府
大阪府
兵庫県
奈良県
和歌山県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33


鳥取県
島根県
岡山県
広島県
山口県
徳島県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33


香川県
愛媛県
高知県
福岡県
佐賀県
長崎県
定点当たり報告数
報告週
100
75
50
25
0
15
17
19
21
23
25
27
29
31
33



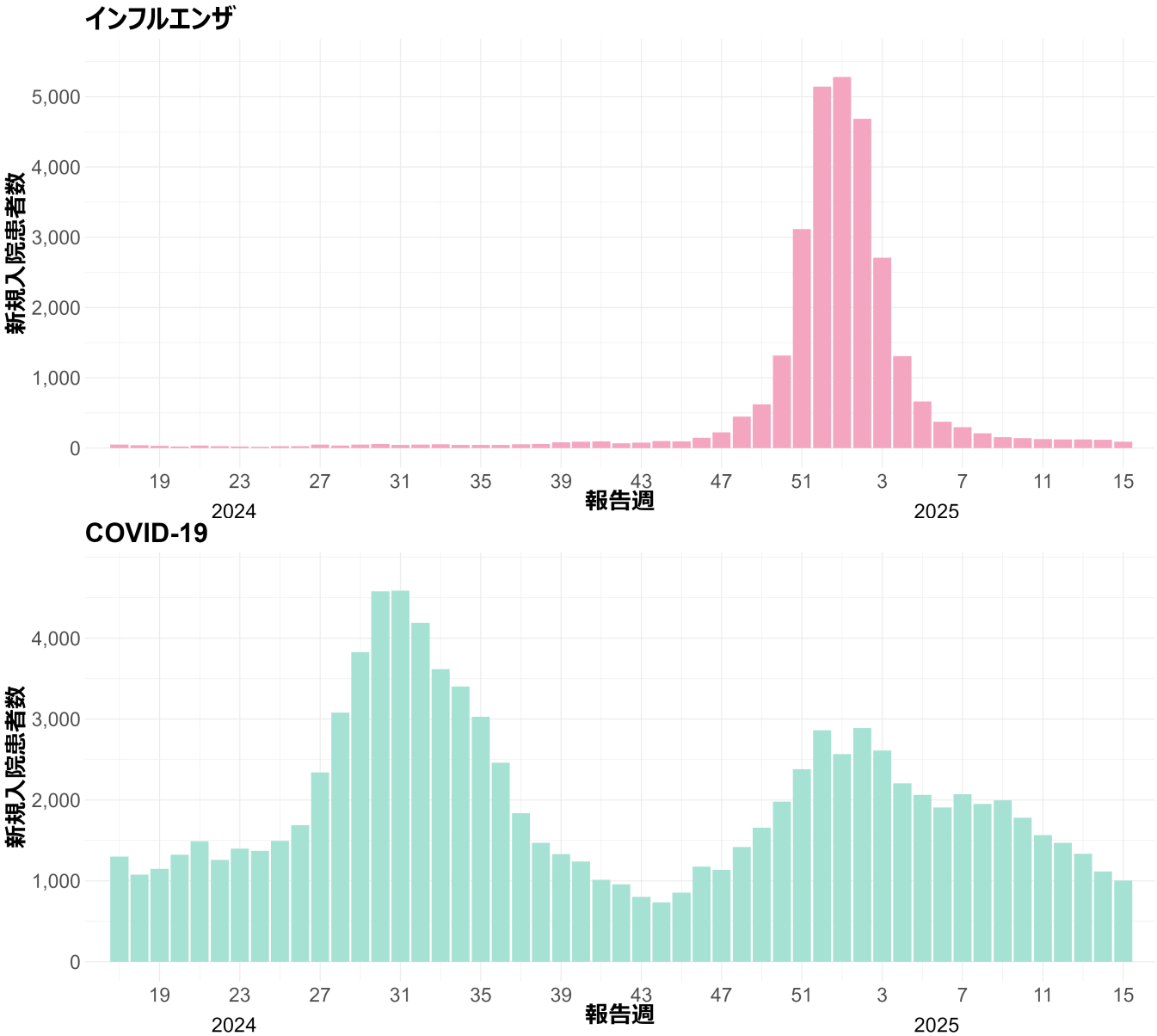
出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

注）報告数は、当該週の IDWR で還元したデータの再掲である。

1.4. 全国のインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数

2025 年第 15 週に基幹定点から報告された、新規入院患者数の推移を図 5 に、年齢群別報告数を表 4 に示す。インフルエンザ、COVID-19 ともに減少傾向が続いており、インフルエンザは 92 例、前週と比較して 26 例減少した。COVID-19 は 1,005 例、前週と比較して 113 例減少した。
年齢群別でみると、インフルエンザでは 0-9 歳で 26 例、10-59 歳で 15 例、60 歳以上で 51 例であった。COVID-19 では 0-9 歳で 34 例、10-59 歳で 93 例、60 歳以上で 878 例であった。

図 5: 基幹定点医療機関から報告されたインフルエンザおよび COVID-19 の新規入院患者数



出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2024 年 4 月 15 日～2025 年 4 月 13 日）

表 4: 当該週における基幹定点医療機関から報告された新規入院患者数

年齢群	インフルエンザ	COVID-19
0-9 歳	26	34
	(1.08)	(0.79)
10-59 歳	15	93
	(0.58)	(0.88)
60 歳以上	51	878
	(0.75)	(0.91)
計	92	1,005
	(0.78)	(0.90)

出典: 感染症発生動向調査(2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日)

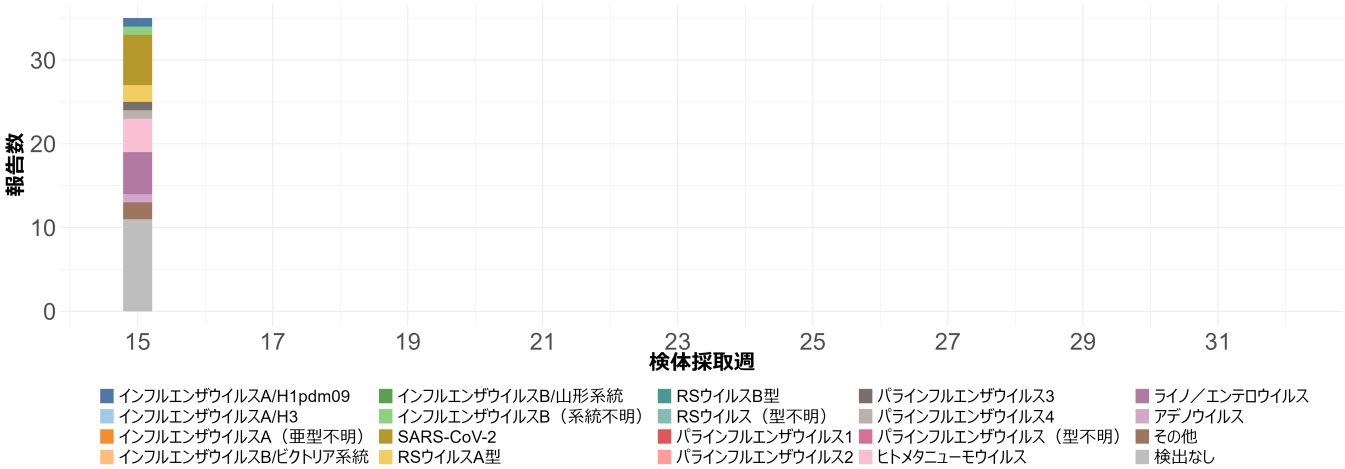
注)カッコ内の数値は前週比であり、前週の報告数は当該週の IDWR で還元したデータを用いた。
注)前週の報告数が 0 であった場合は、前週比の欄に「—」と表記。

2. 病原体サーベイランスの状況

2.1. 全国の病原体別報告数

急性呼吸器感染症病原体定点(以下、ARI 病原体定点)で 2025 年第 15 週に採取され、集計時点までに報告された検体数は 34 件であった。そのうち陽性数はインフルエンザウイルス A 型が 1 件、インフルエンザウイルス B 型が 1 件、SARS-CoV-2 が 6 件、RS ウイルスが 2 件であった(図 6)。

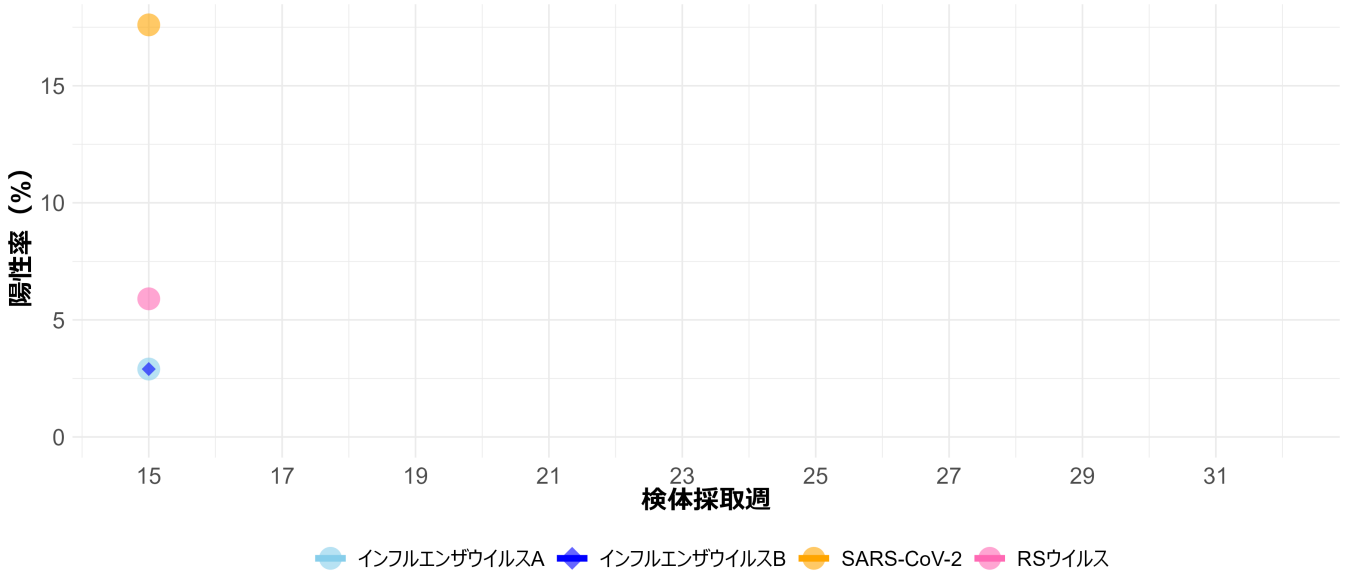
図 6: 検体採取週ごとの病原体別報告数



出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

注）報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。
注）集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。
注）1 つの検体から複数の病原体が検出された場合は、検出された全ての病原体を計上している。
注）ライノ／エンテロウイルスは、ライノウイルスまたはエンテロウイルスが検出されたもの。
注）その他は、凡例に示されている病原体以外が検出されたもの。
注）検出なしは、病原体が検出されなかったものであるが、検査項目によっては未実施の場合も含まれることに注意が必要である。

図 7: 検体採取週ごとの病原体別陽性率



出典: 感染症発生動向調査（2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2025 年 4 月 7 日～2025 年 4 月 13 日）

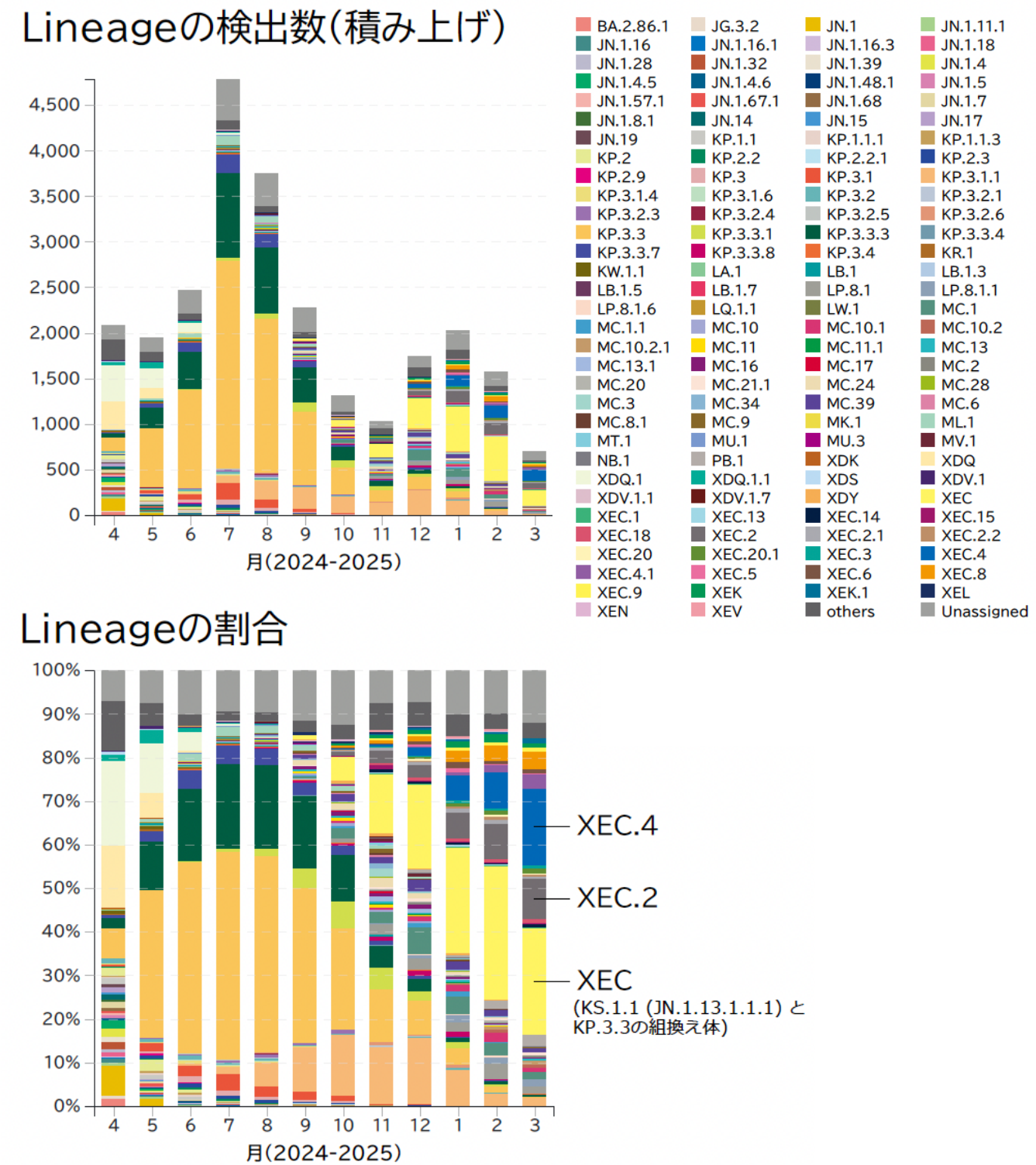
注）陽性率は、対象病原体の検査実施検体数を分母として算出（（陽性数／検査実施数）x100）される。
注）報告週ではなく検体採取週で集計していることに注意が必要である。
注）集計時点における報告数であるため、過去の週報で掲載された値とは必ずしも一致しないことに注意が必要である。

2.2. SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランス

本記載は、新型コロナウイルス感染症サーベイランス月報（2025 年 3 月号）に掲載された SARS-CoV-2 ゲノムサーベイランスの再掲である。

2025年3月の全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況（1 月単位）では、XEC 系統とその亜系統が増加を続け、60%以上を占めている。一方、KP.3 系統とその亜系統が減少を続けている（図 9）。なお、本データは ARI サーベイランスの一環で実施されたゲノムサーベイランスの結果を集計したものである。

図 9: 国内におけるゲノムサーベイランスの状況（上図: Lineage の積み上げ、下図: Lineage の割合（%））



出典: 新型コロナウイルスゲノムサーベイランス

なお、世界的に VUM（Variant under Monitoring）の中では XEC 系統が最も流行していて、やや減少している。一方、かつて最も主流であった KP.3.1.1 系統は引き続き減少傾向である。最も新しく VUM に加わった LP.8.1 系統はやや増加している。既存の亜系統と比較して公衆衛生的なリスクに変化はない。
（参考: WHO の指定する変異株 VOI（Variant of Interest）は JN.1/VUM は KP.3、KP.3.1.1、LB.1、XEC、LP.8.1）

注意事項

本報では、急性呼吸器感染症定点および小児科定点としてあらかじめ指定された医療機関から週単位で報告された患者数を全国および都道府県ごとに集計した数値を用いている。都道府県別あるいは性別・年齢階級別報告数の詳細については感染症発生動向調査週報（IDWR）を参照されたい。なお、本報および IDWR に掲載されている数値は暫定値であるため、年報での数値とは必ずしも一致しない。

患者サーベイランスの集計には感染症発生動向調査に報告されたデータのうち直近 1 週間は集計日時点のデータを、それ以前は最初の集計時点のデータを再掲している。遅れて報告されたり、修正されたりする場合があるため、集計値は暫定値であることに注意が必要である。

病原体サーベイランスの集計では、全ての週に関して集計時点のデータを掲載している。自治体/地方衛生研究所によって集められた検体に対する病原体検査項目が異なることがある。また、自治体/地方衛生研究所によって検査実施および報告に要する日数が異なるため、検体採取週における病原体検出数は遅れて報告される、あるいは修正されることがあり集計値は暫定値であることに注意が必要である。

急性呼吸器感染症定点は、内科定点に比べ小児科定点が多く選択されている。定点から報告されたインフルエンザ、COVID-19 症例に占める各年齢群の割合については、小児に偏る可能性がある。一方、経時的な流行全体の傾向（トレンド）と水準（レベル）の把握、年齢群ごとの傾向と水準の評価の観点においては影響を与えない。

年末・年始（第 52 週～第 1 週頃）、ゴールデンウィーク（第 18 週頃）、お盆（第 33 週頃）、シルバーウィーク（第 39 週頃）等の週では、報告数が減少する傾向があり解釈には注意が必要である。なお、祝日、休日の並び等によって該当する週は年によって異なる。

従来の警報・注意報は保健所ごとの報告数を用いて検討・設計されており、定点数の設計および定点医療機関が変更された 2025 年 4 月 7 日以降の患者サーベイランスに直ちに当てはめることはできない。急性呼吸器感染症定点の運用時でのインフルエンザをはじめとする各感染症の警報・注意報といったアラートについてはデータの蓄積の上で検討を進める。なお、このような限界を理解したうえで従前の警報・注意報をコミュニケーションとして使用することを妨げるものではない。

地域の定義

北海道
東北地方: 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東地方: 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸地方: 新潟県、富山県、石川県、福井県
東海地方: 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿地方: 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国地方: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国地方: 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州地方: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄県

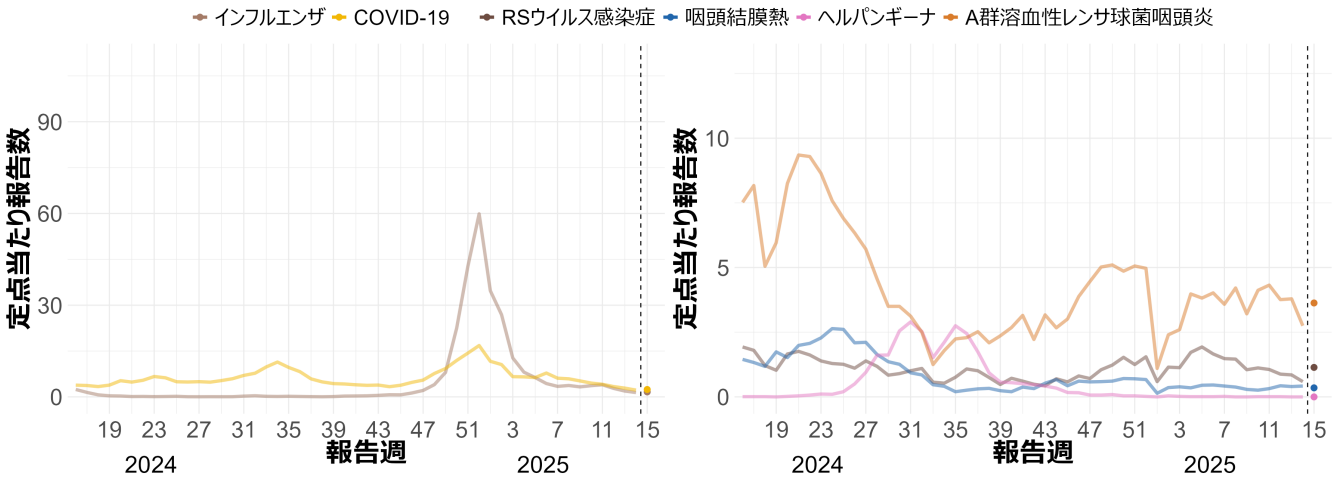
参考サイト

●感染症発生動向調査週報(IDWR)ページ
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html
●病原微生物検出情報(IASR)ページ
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html
●国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 感染症情報提供サイト
https://id-info.jihs.go.jp/
・インフルエンザ
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/influenza/010/influ-top.html
・ヒトに感染するコロナウイルス(新型コロナウイルス感染症)
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ka/coronavirus/010/coronavirus.html
・RS ウイルス感染症
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html
・咽頭結膜熱
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/adeno/010/pcf-intro.html
・ヘルパンギーナ
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/herpangina/010/herpangina.html
●厚生労働省 感染症情報
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/index.html
・急性呼吸器感染症(ARI)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html
・急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスに係る具体的な方針について (PDF: 1096KB)
https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/001272561.pdf
・インフルエンザ(総合ページ)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html
・新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
・RS ウイルス感染症 Q&A(令和6年5月 31 日改訂)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html
・咽頭結膜熱
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-

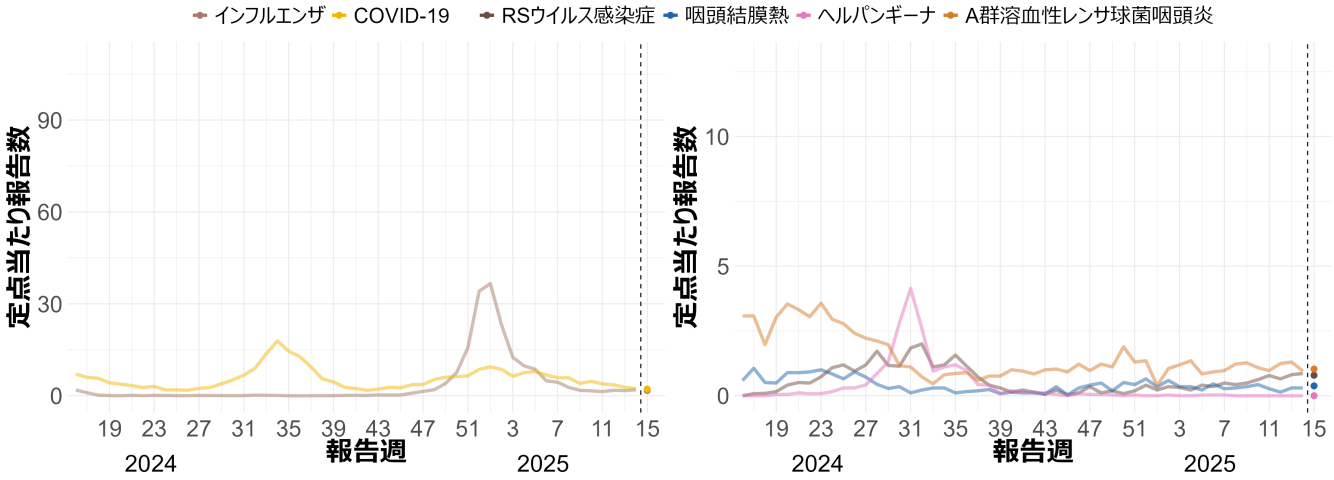
kansenshou/pcf.html
・ヘルパンギーナ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/herpangina.html
●新型コロナウイルスのゲノムサーベイランス（検疫検体: 入国者検疫検体を含む）について
https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/45/532/article/030/index.html
●SARS-CoV-2 変異株について
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/covid-19/180/flu2-1-1.html
●都道府県番号について（PDF: 67.5KB）
https://www.mhlw.go.jp/topics/2007/07/dl/tp0727-1d.pdf

参考: 各感染症の週ごとの都道府県別定点当たり報告数

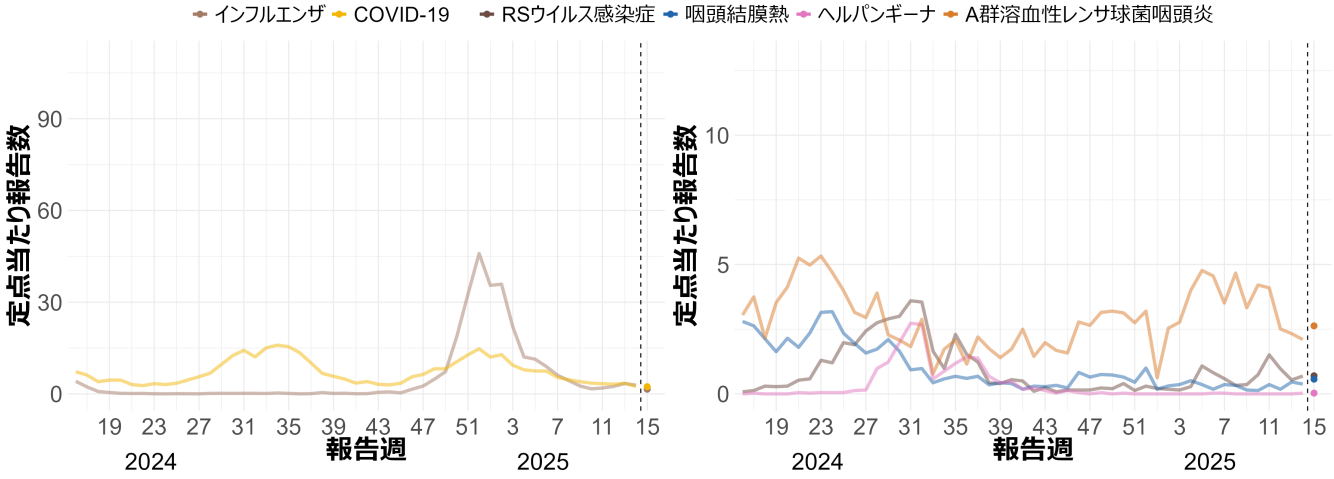
北海道



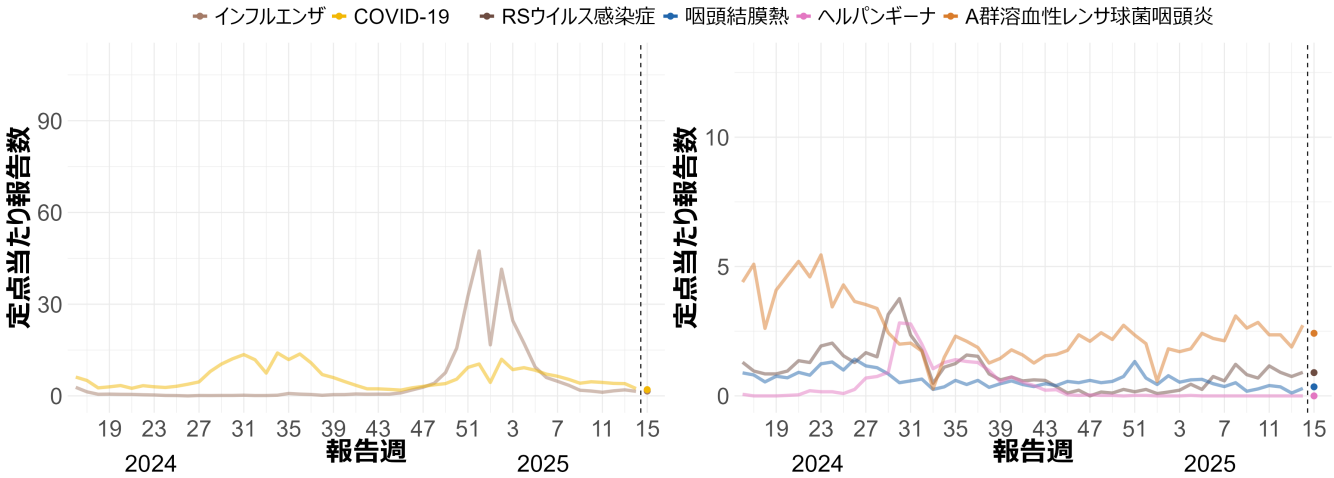
青森県



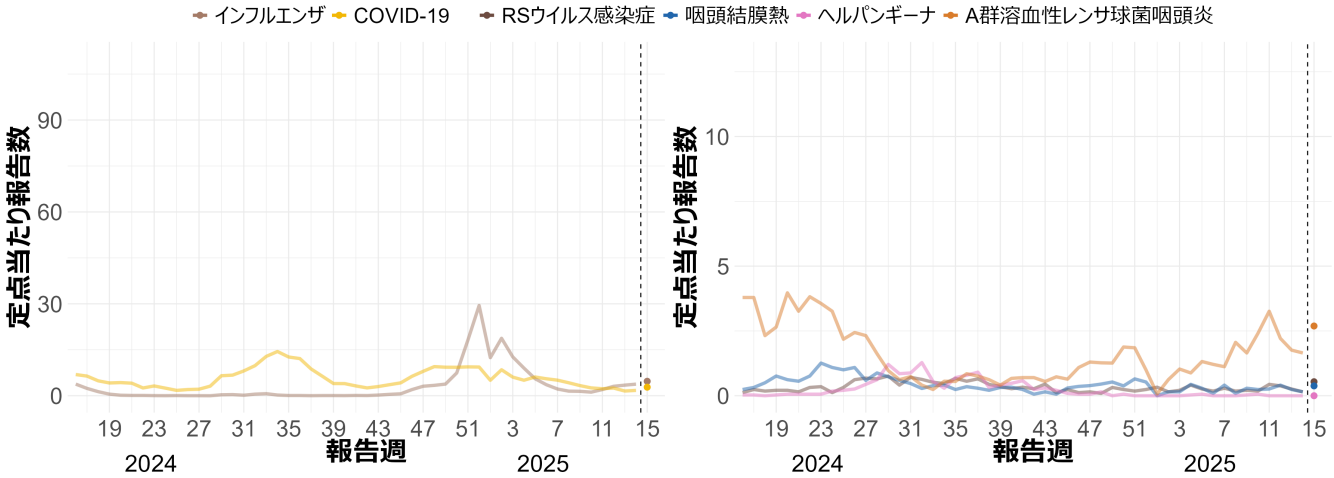
岩手県



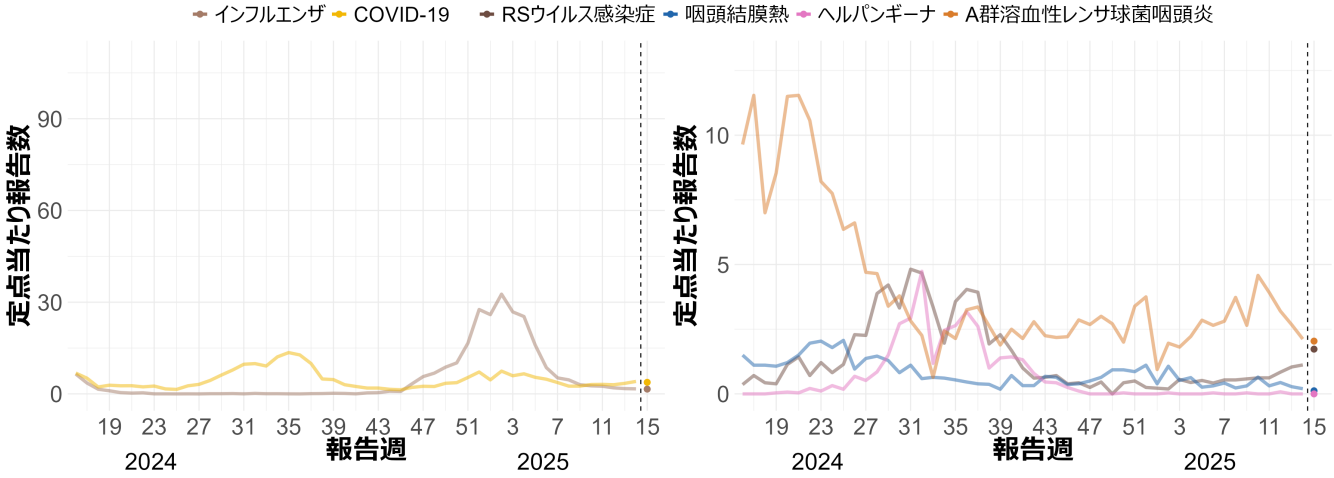
宮城県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

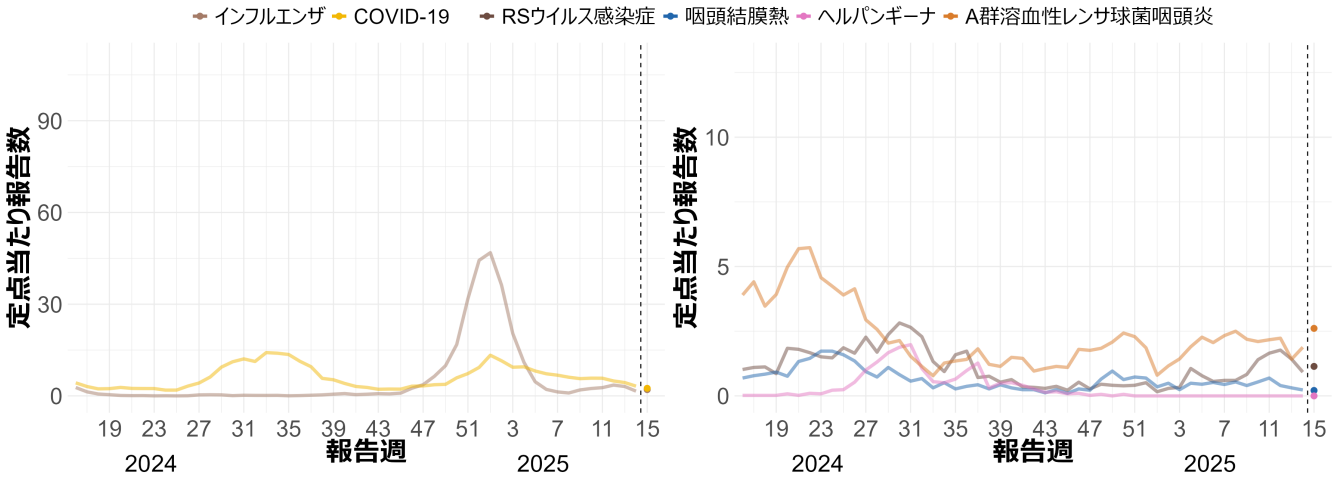
秋田県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

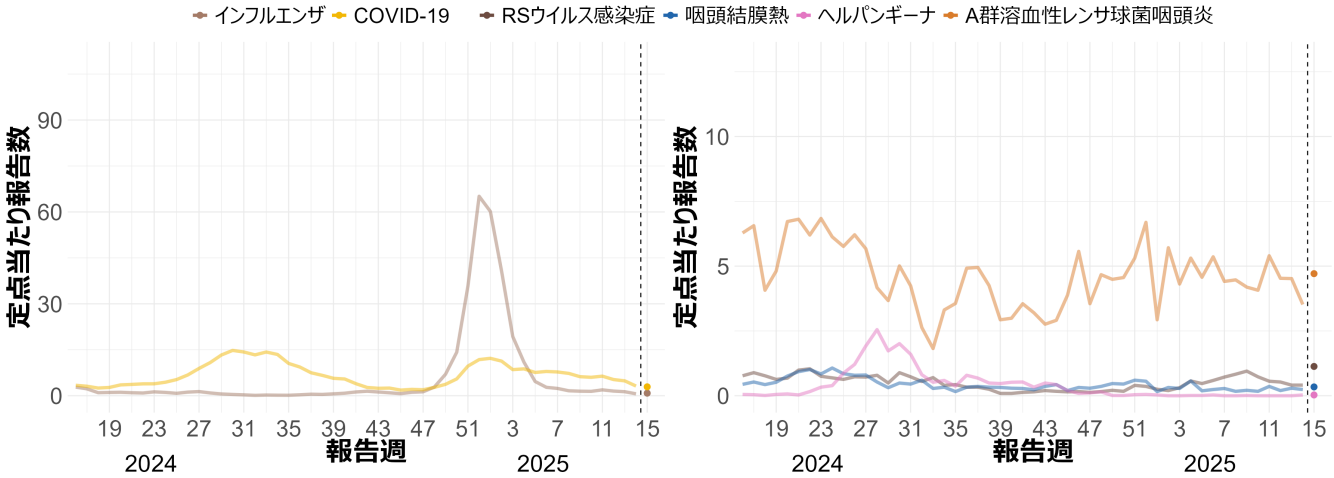
山形県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

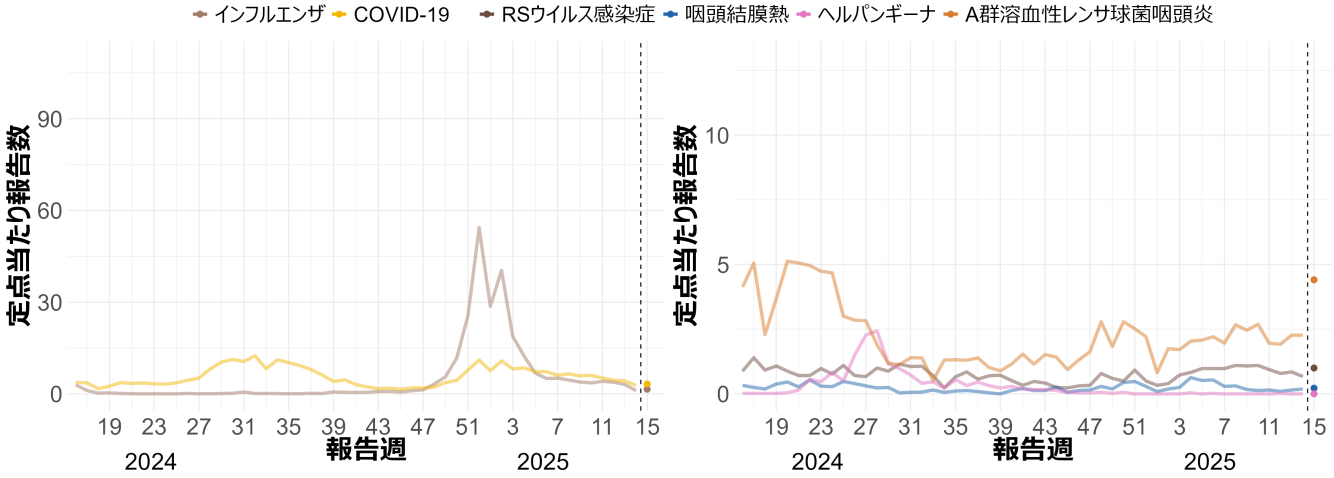
福島県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

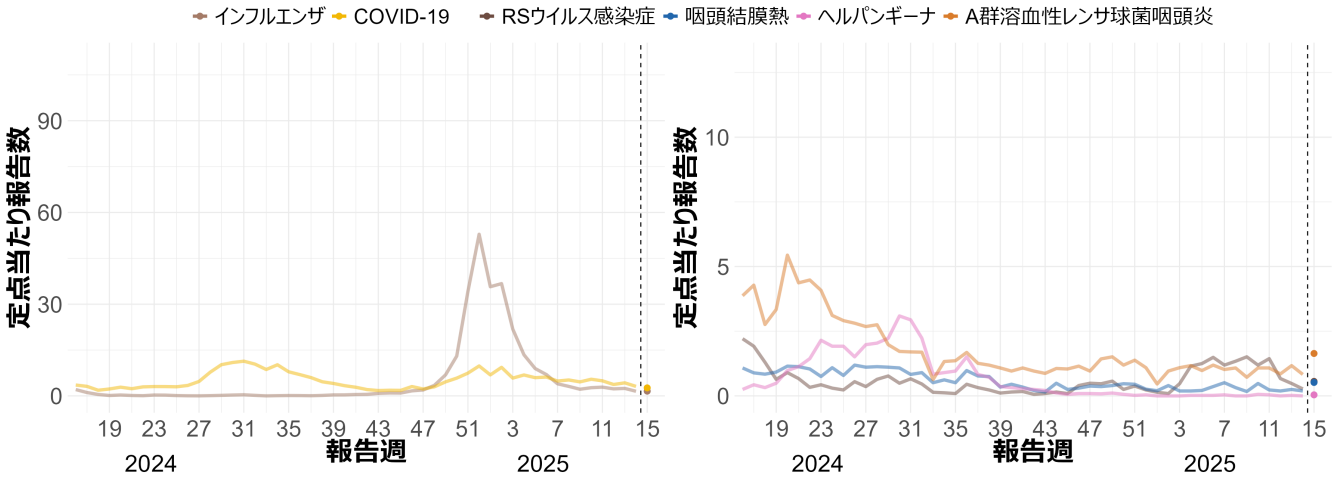
茨城県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

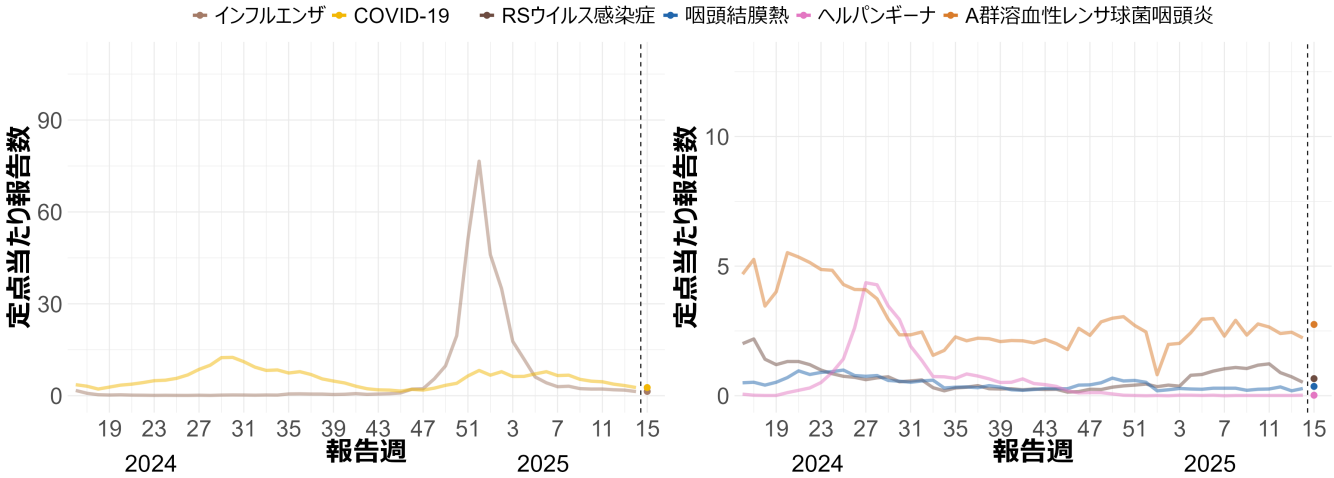
栃木県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

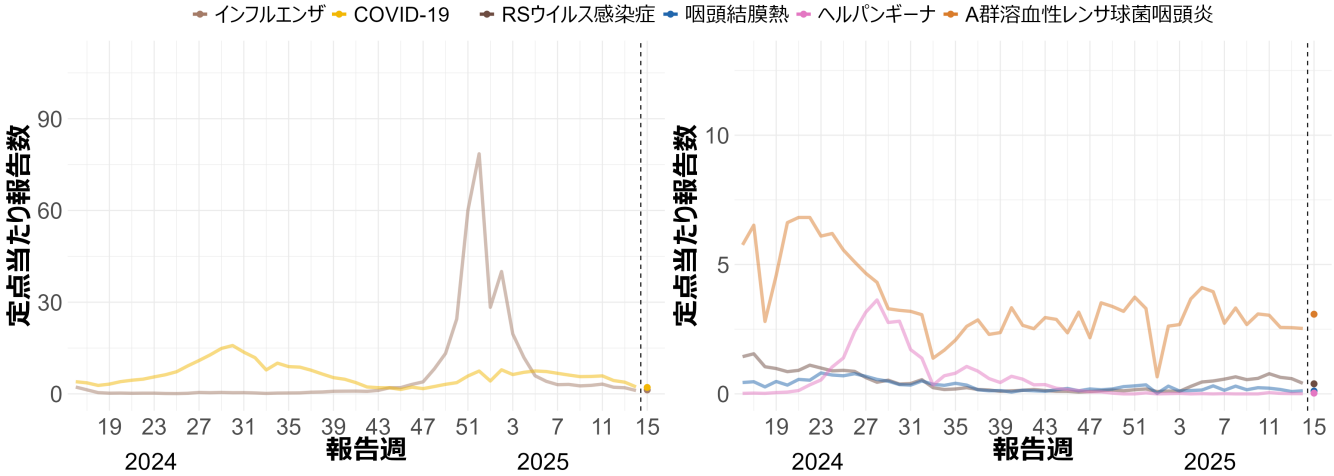
群馬県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

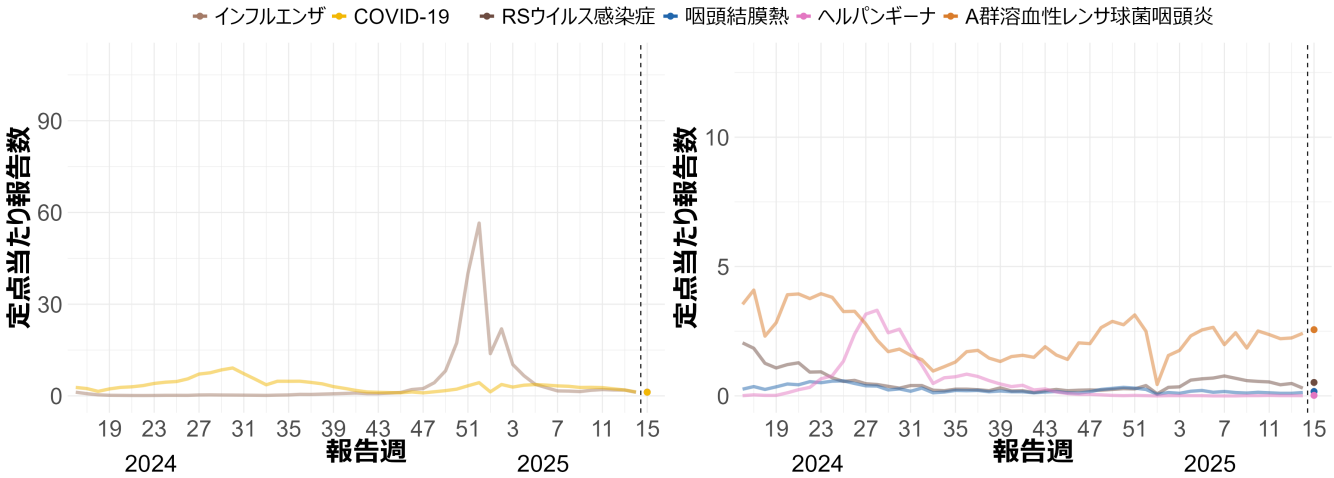
埼玉県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

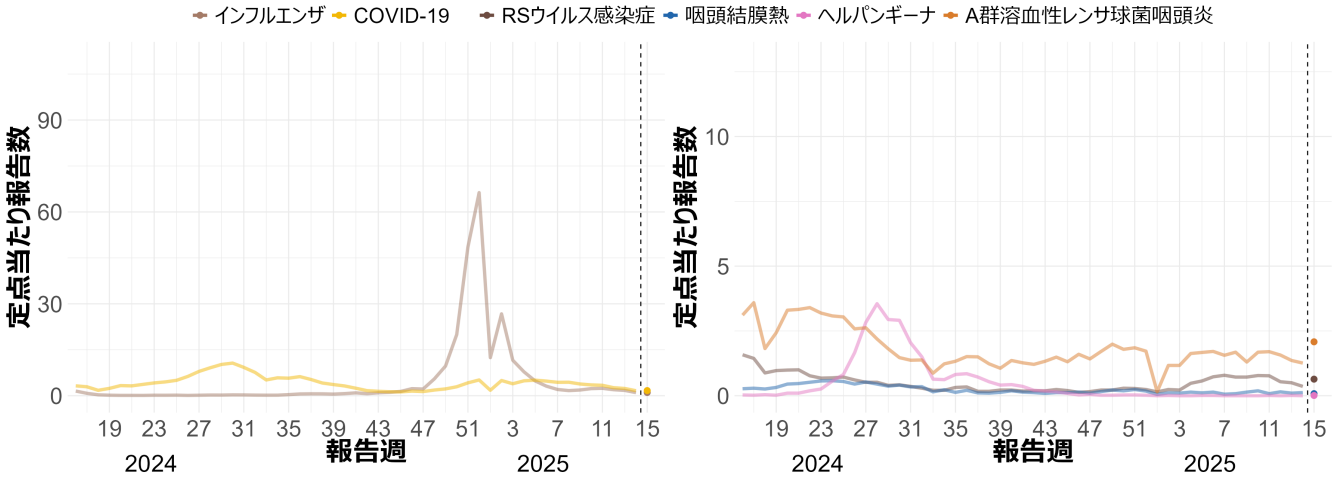
千葉県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

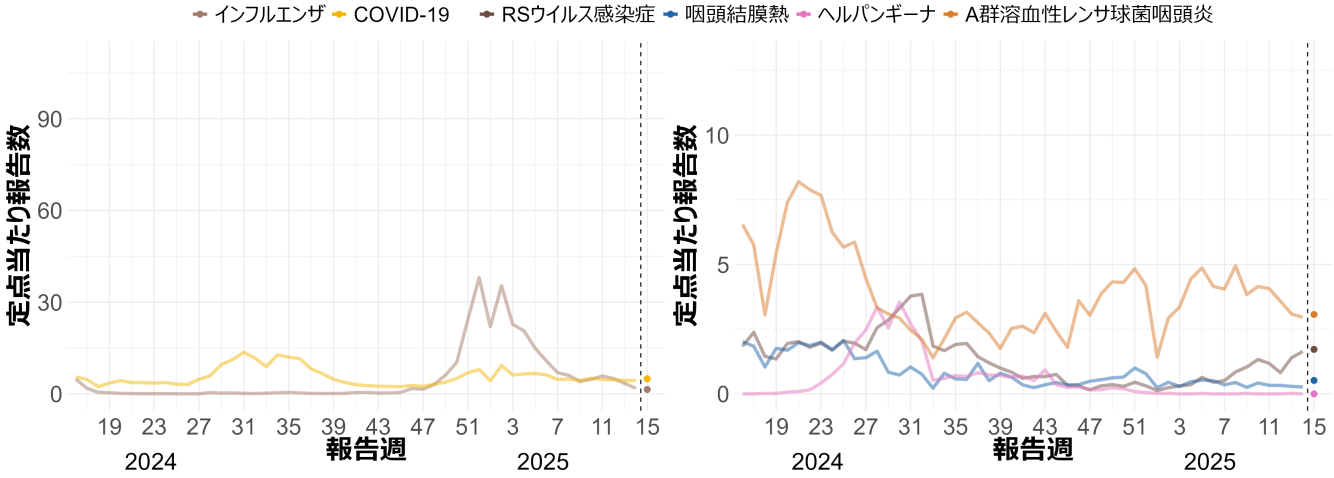
東京都


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

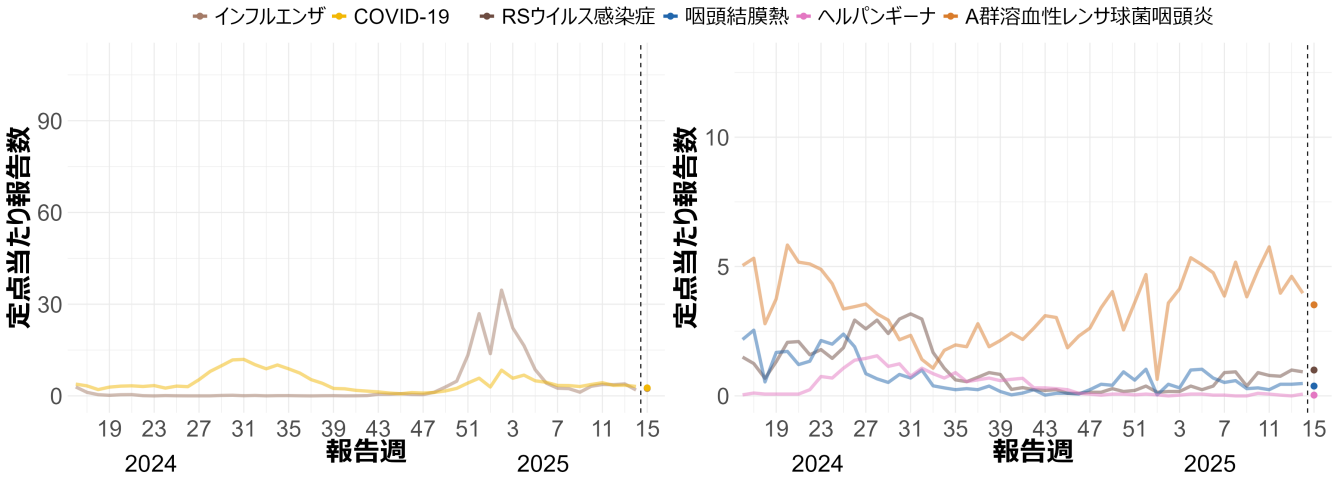
神奈川県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

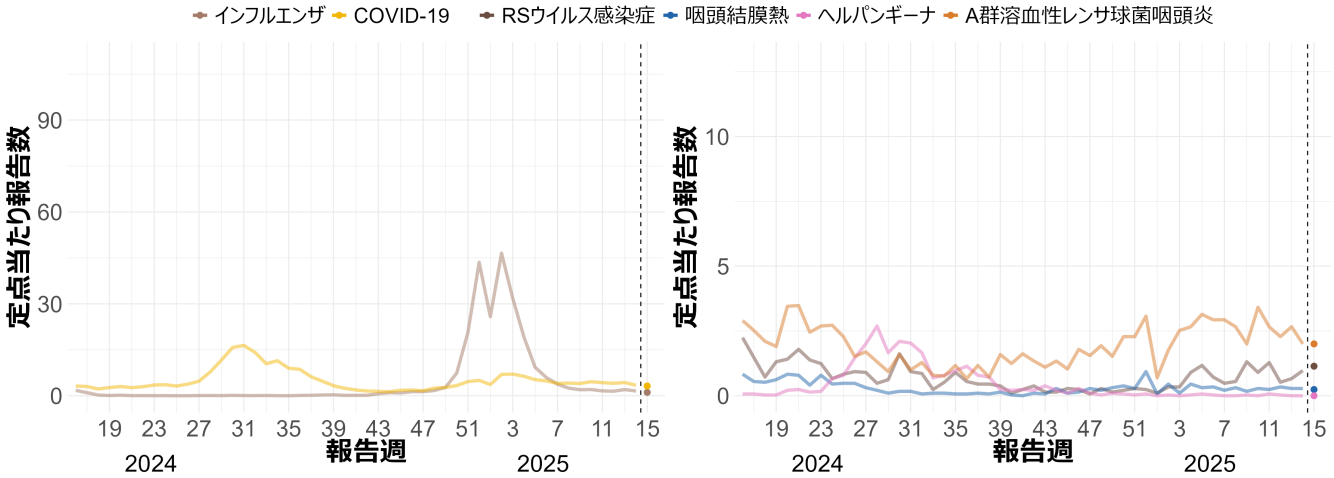
新潟県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

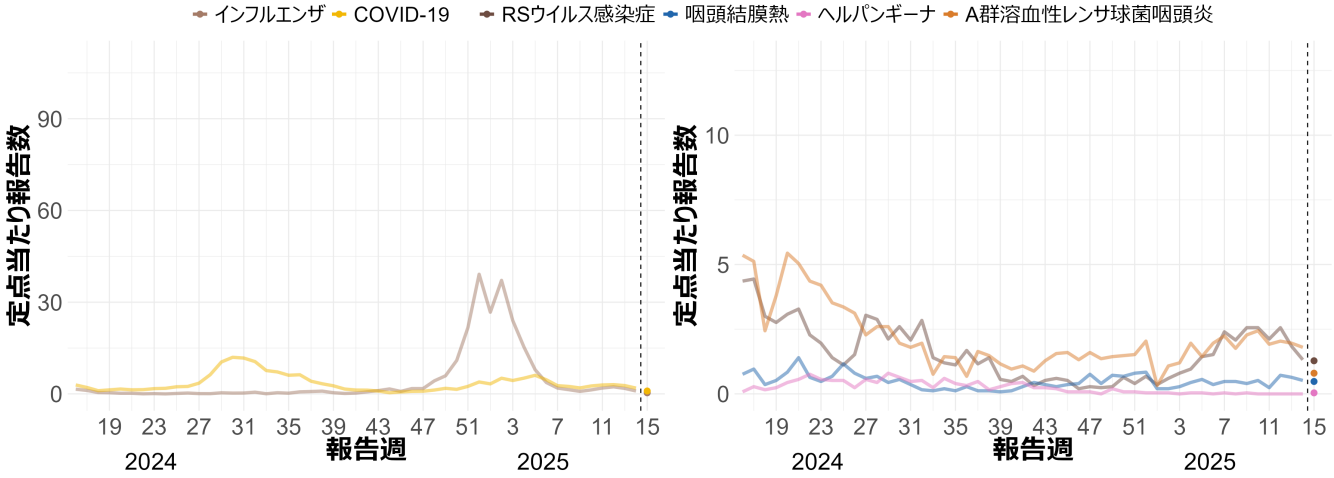
富山県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

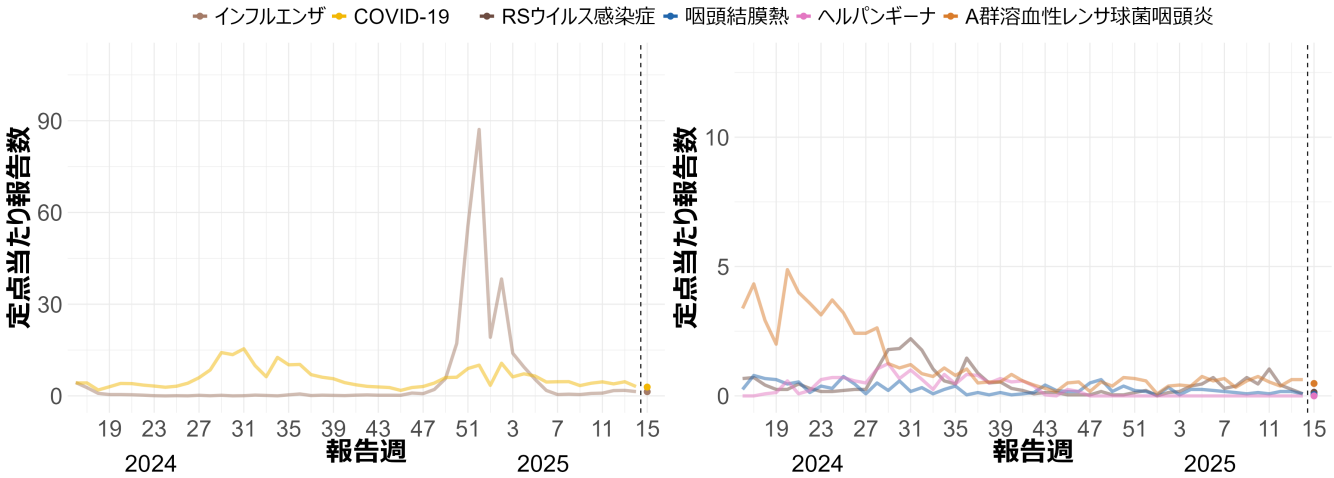
石川県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

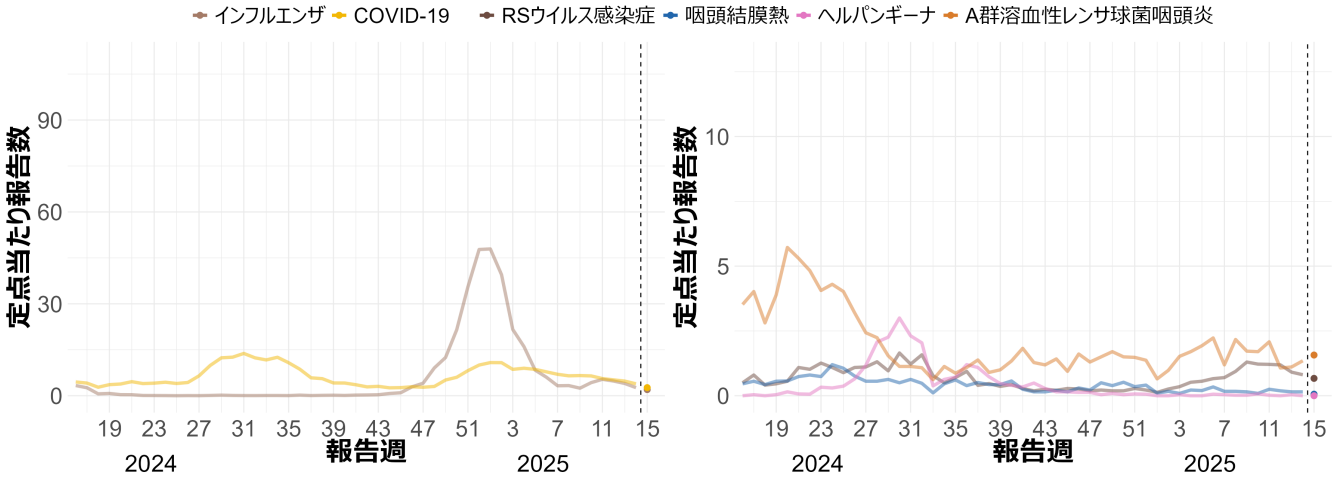
福井県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

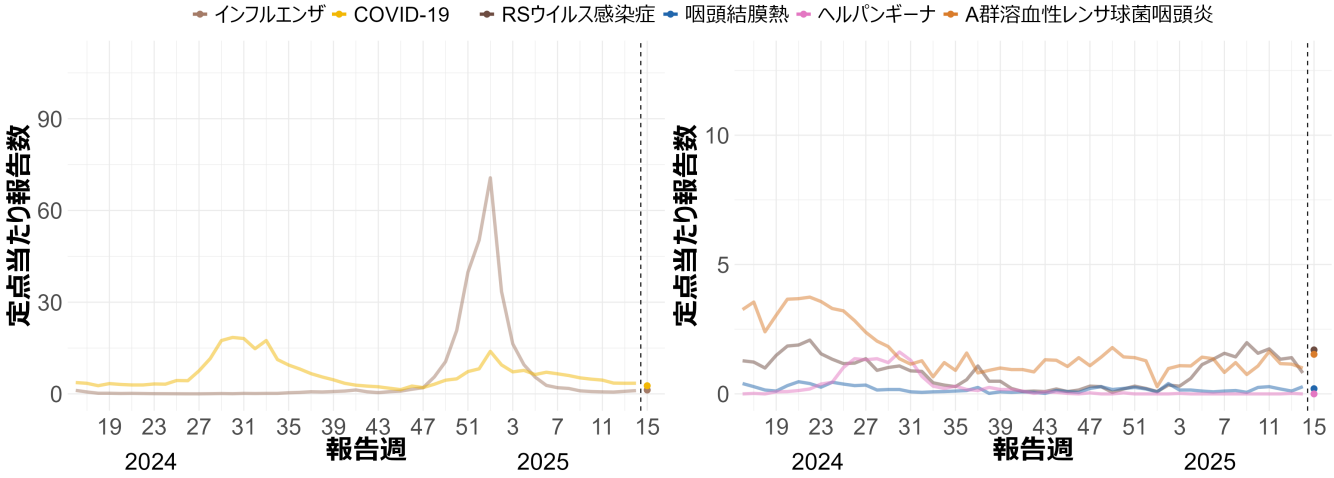
山梨県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

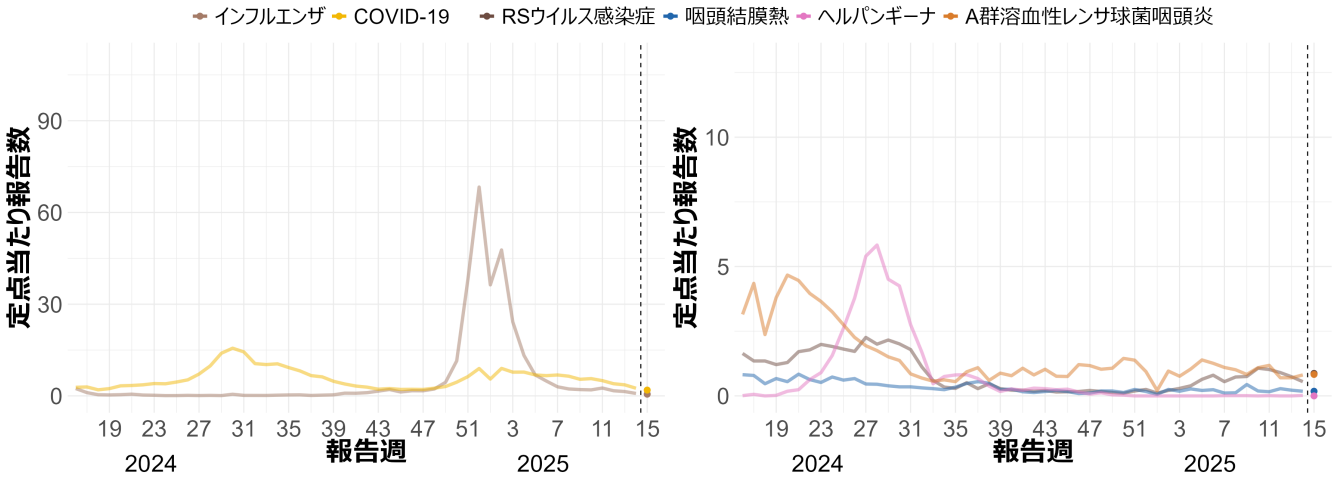
長野県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

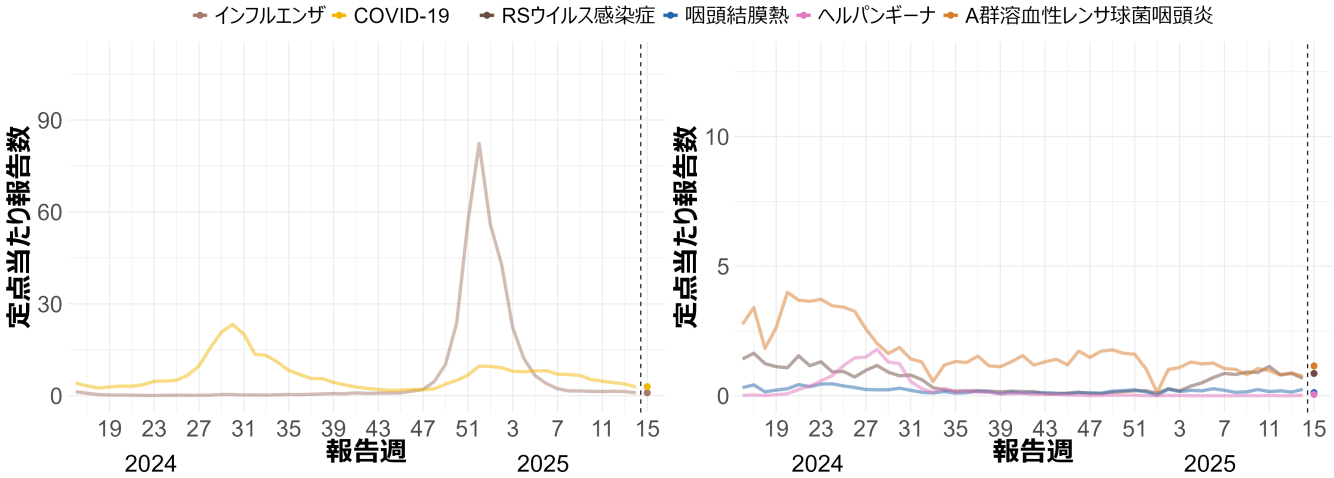
岐阜県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

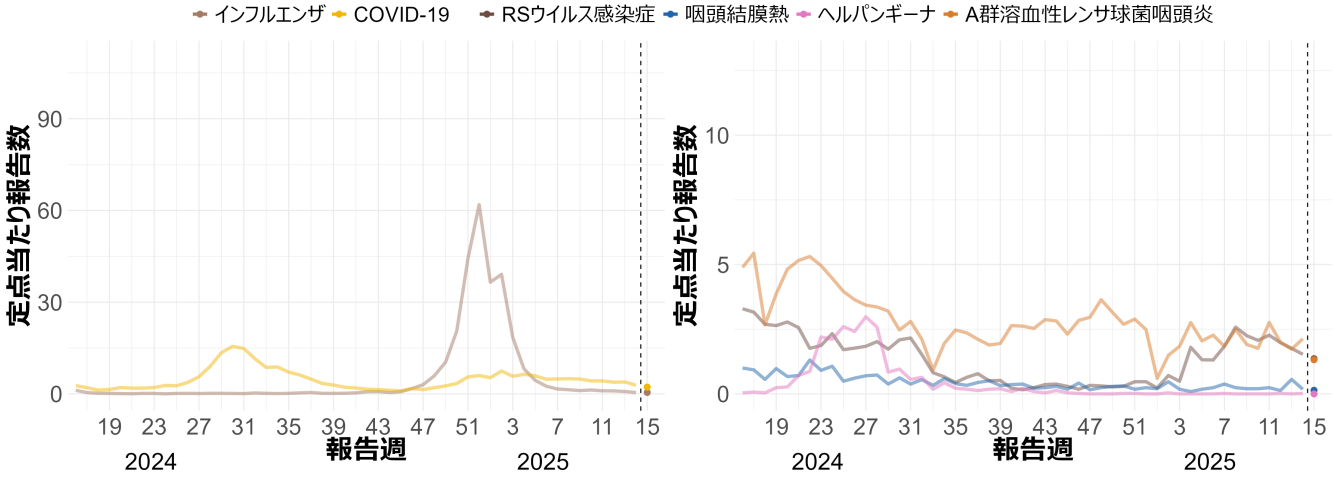
静岡県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

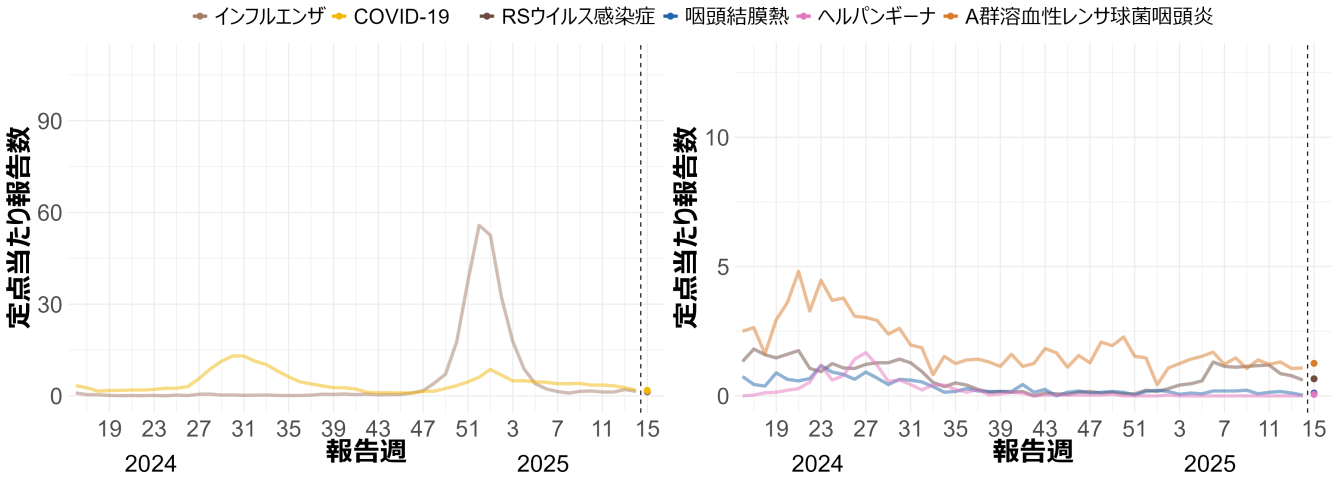
愛知県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

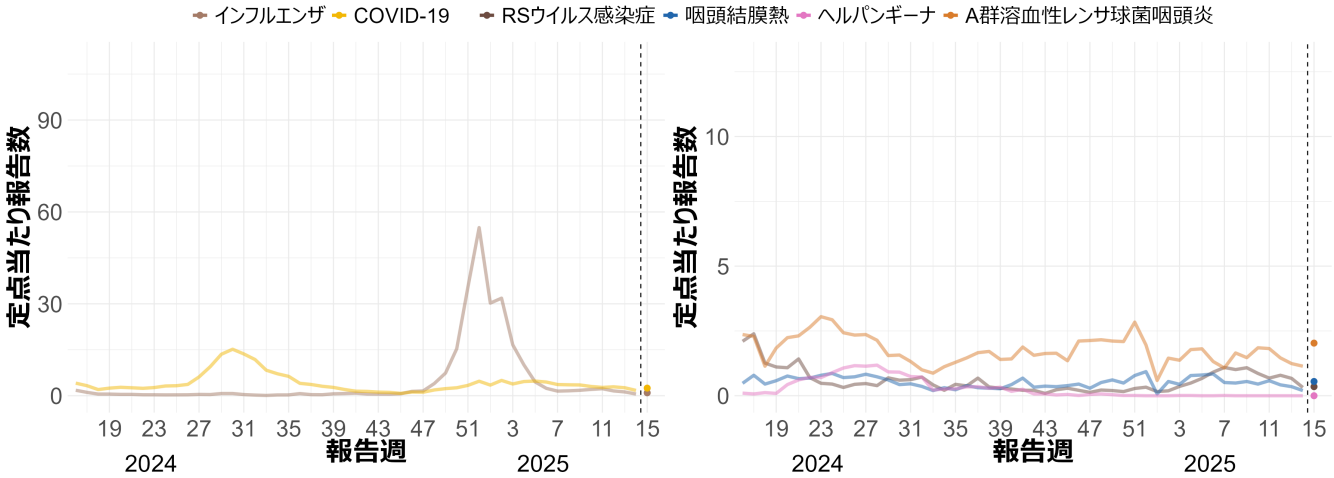
三重県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

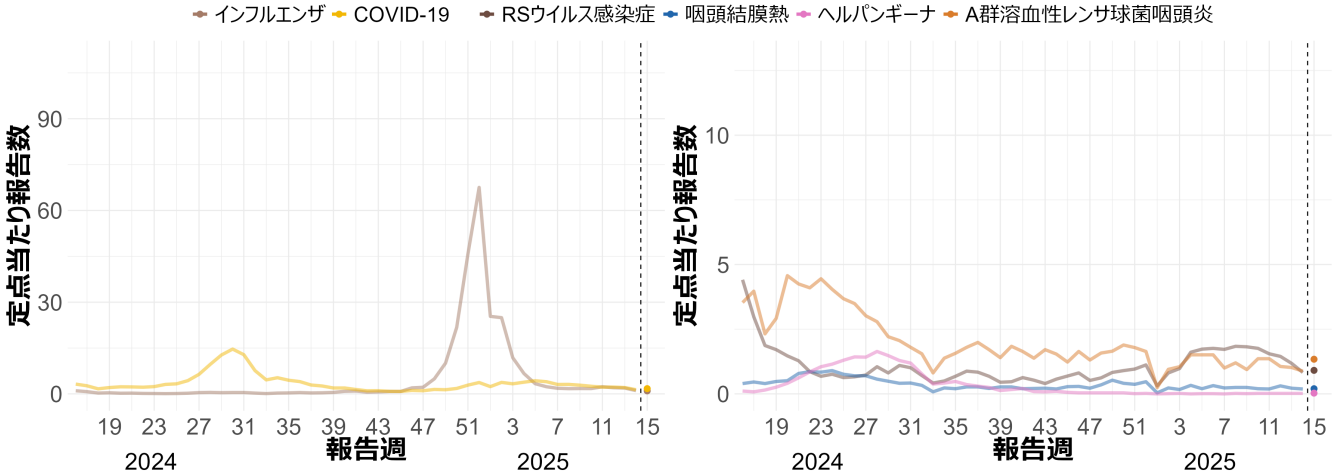
滋賀県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

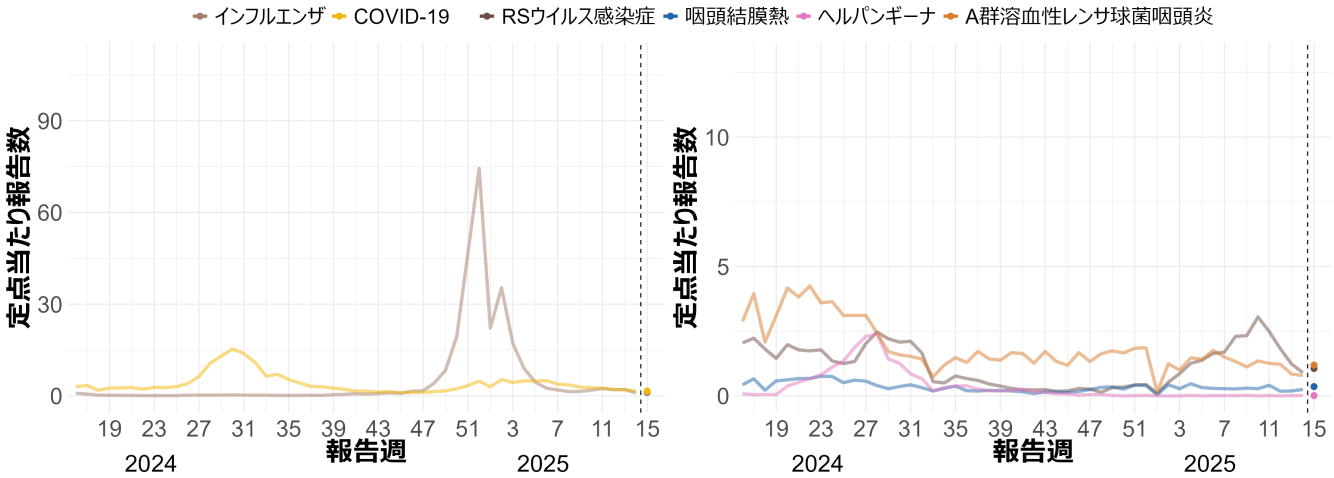
京都府


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

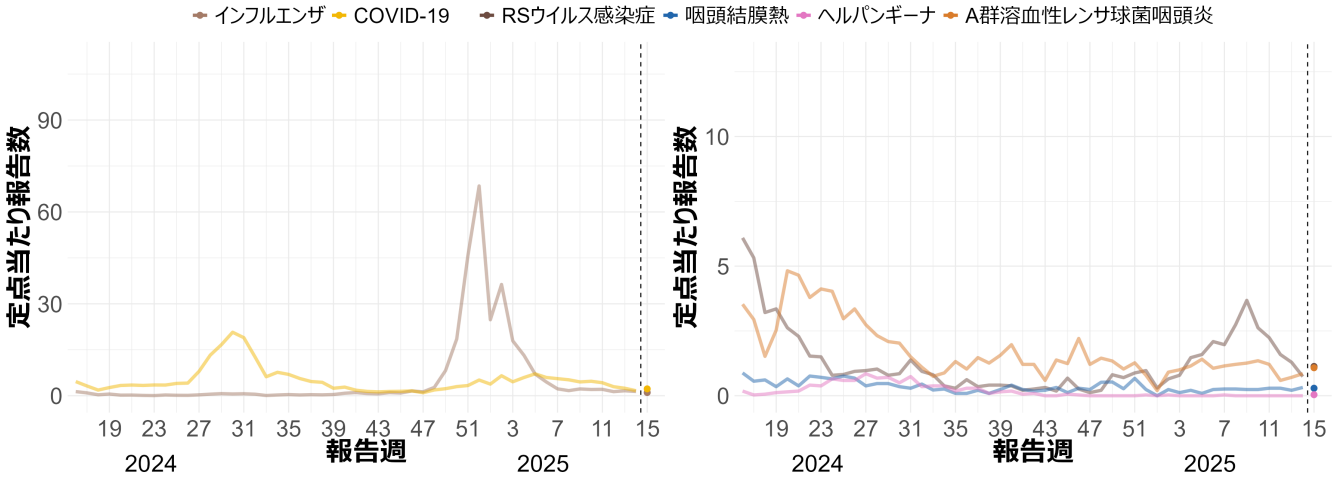
大阪府


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

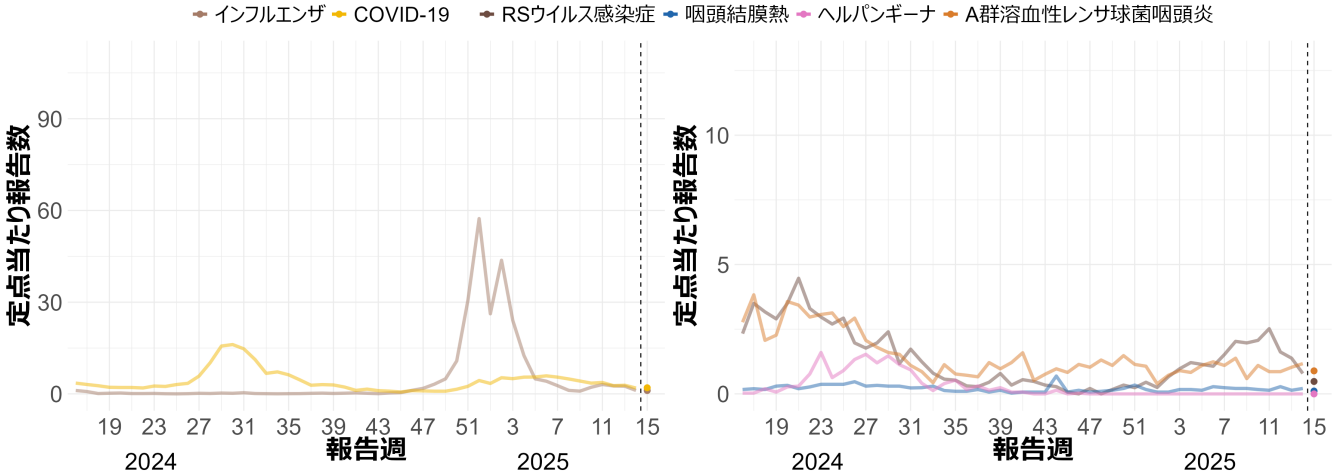
兵庫県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

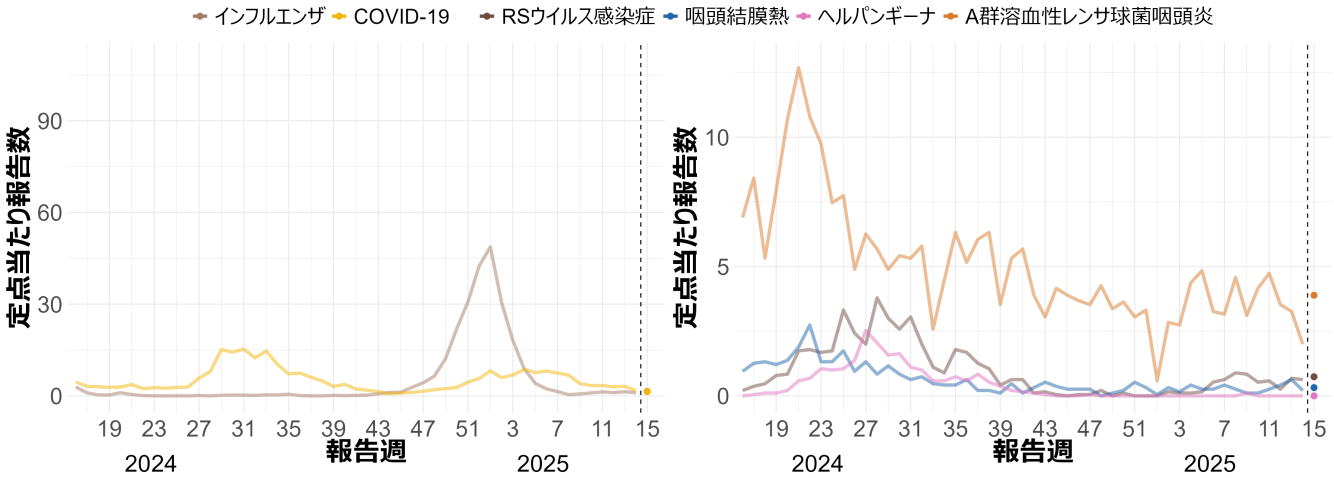
奈良県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

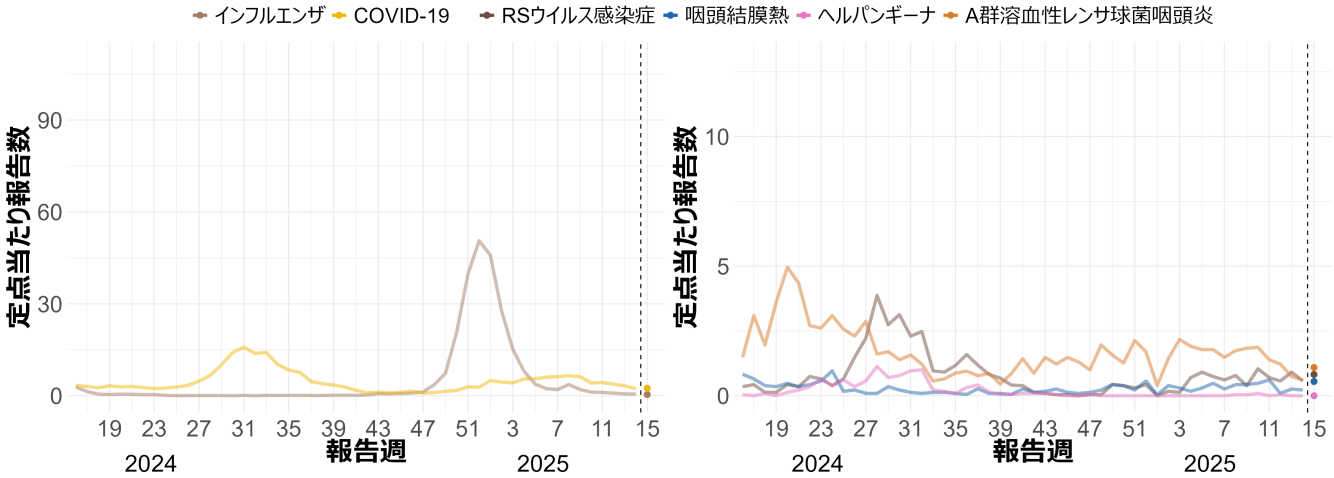
和歌山県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

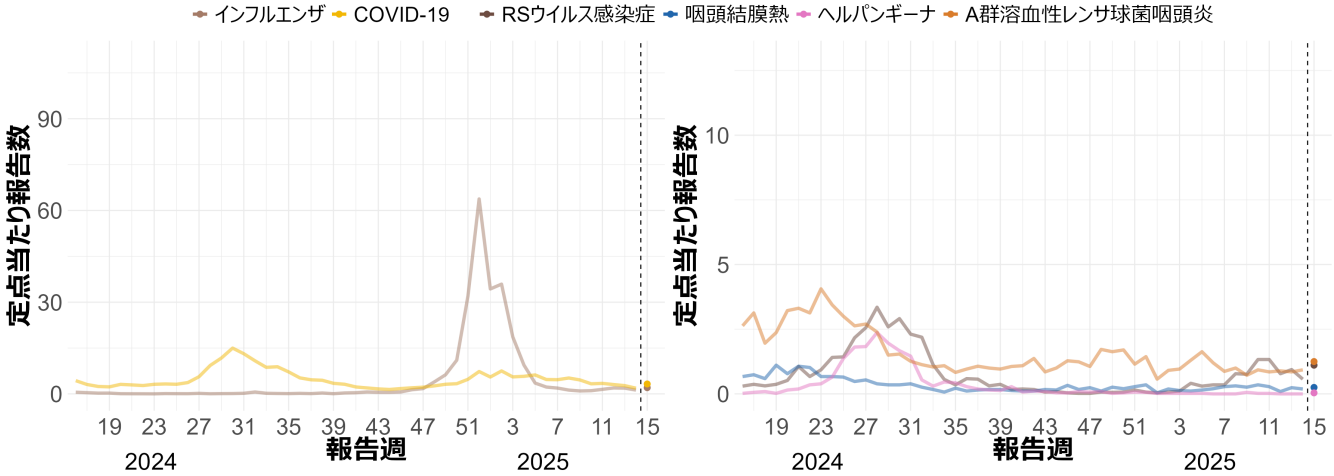
鳥取県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

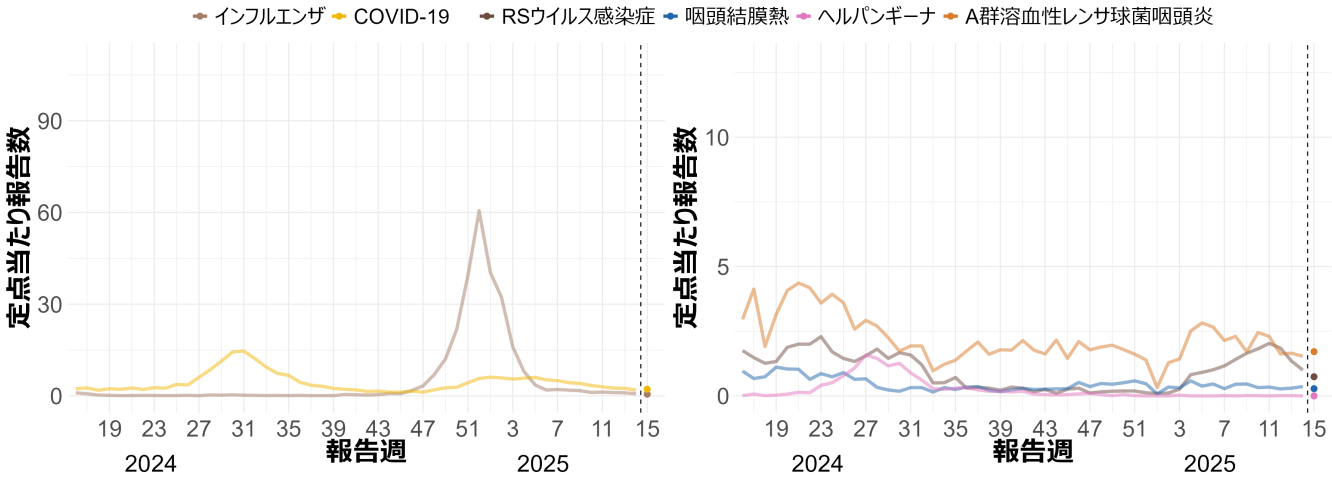
島根県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

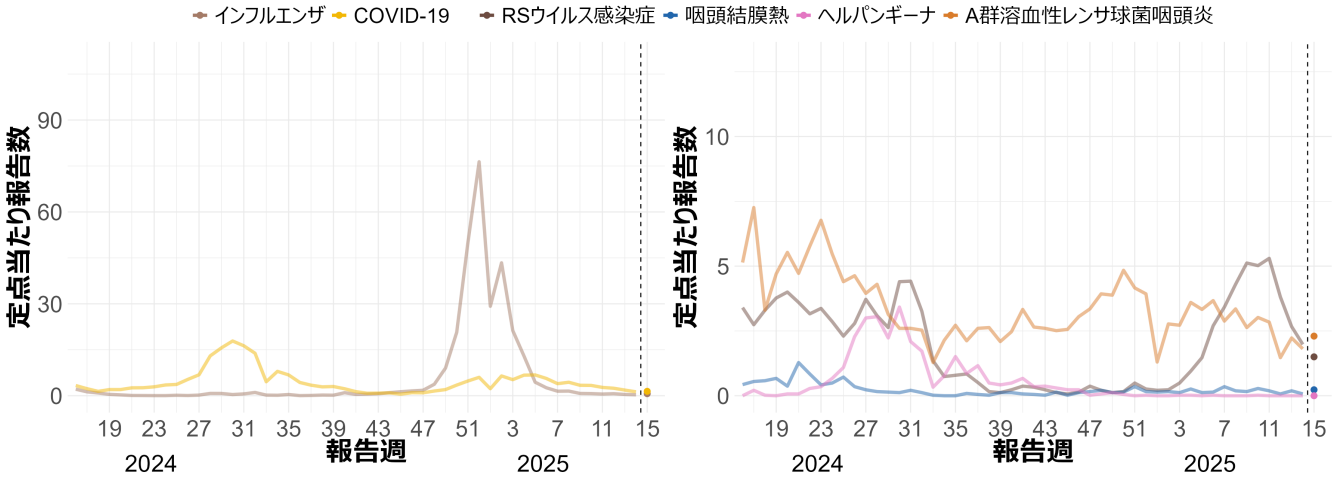
岡山県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

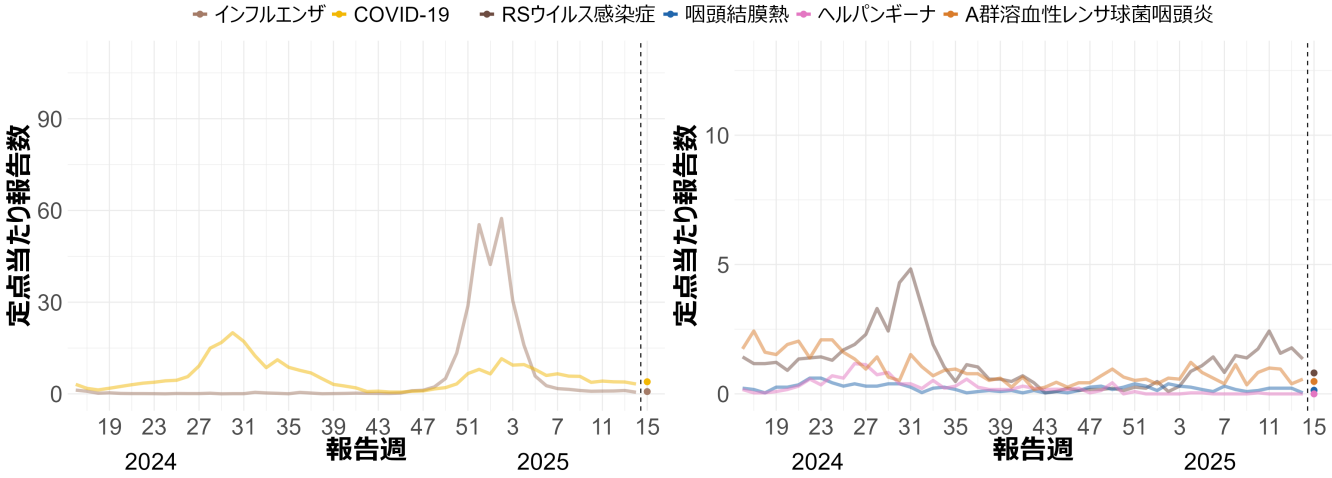
広島県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

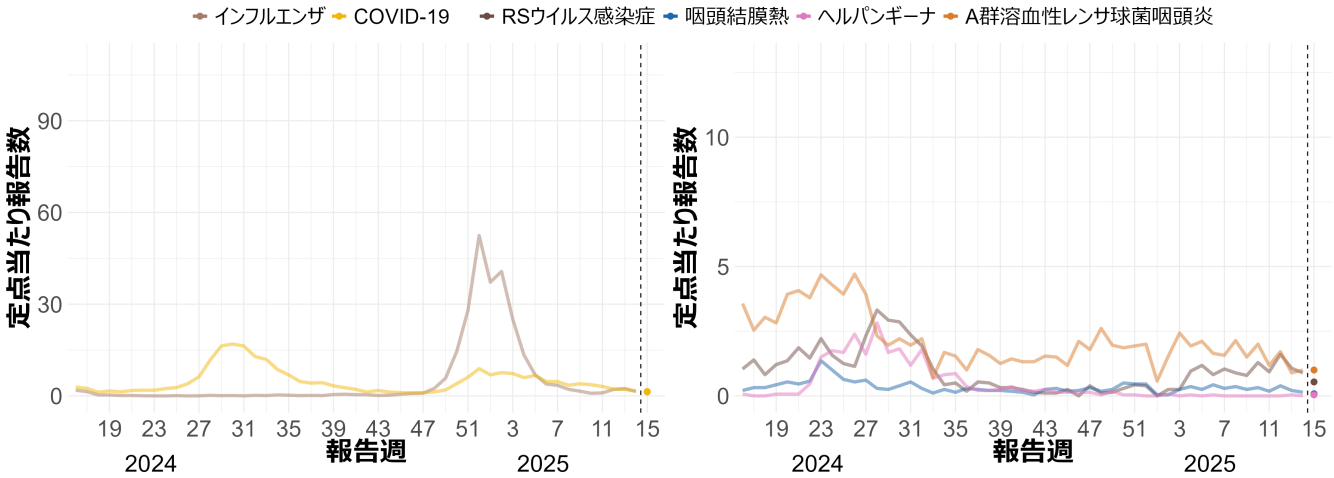
山口県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

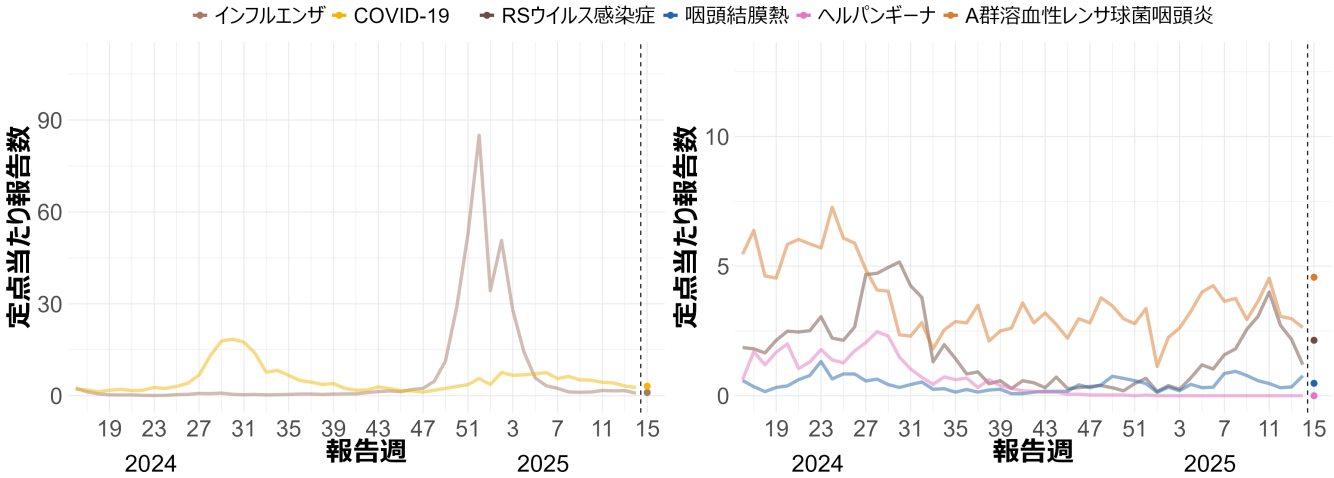
徳島県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

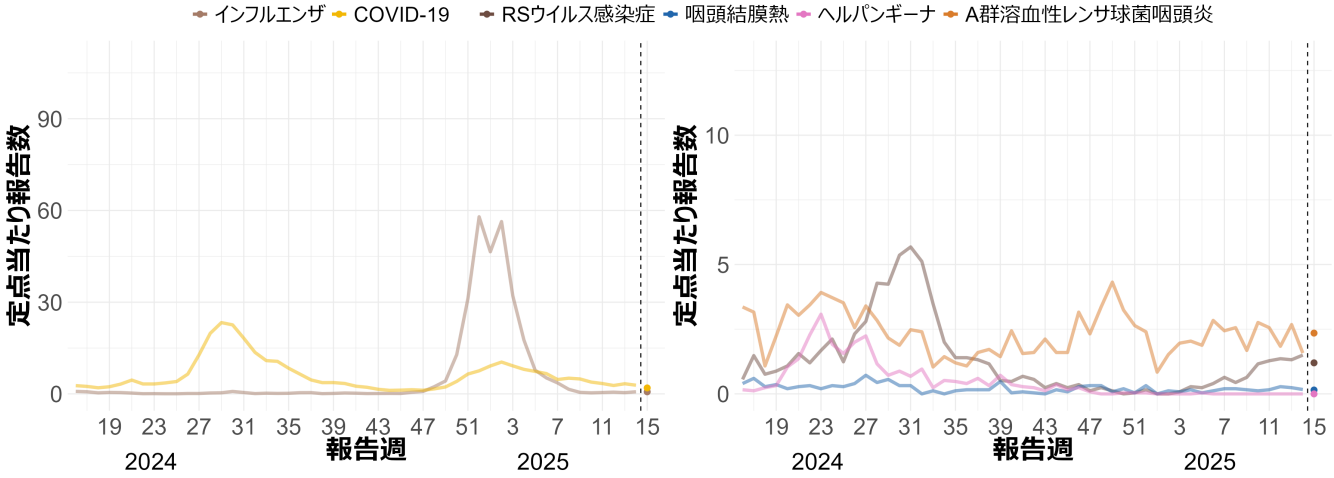
香川県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

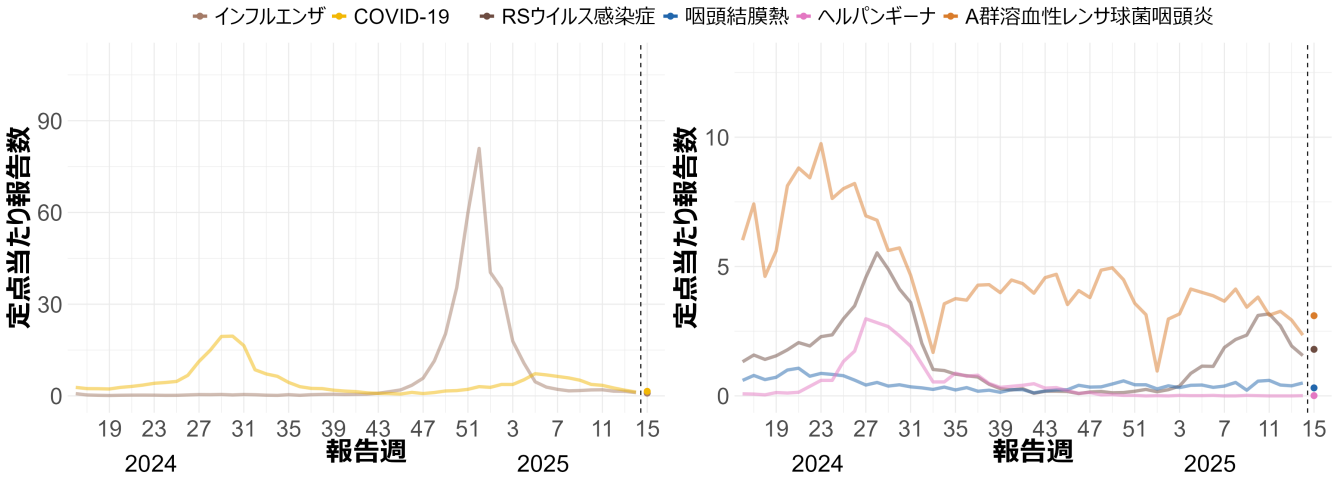
愛媛県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

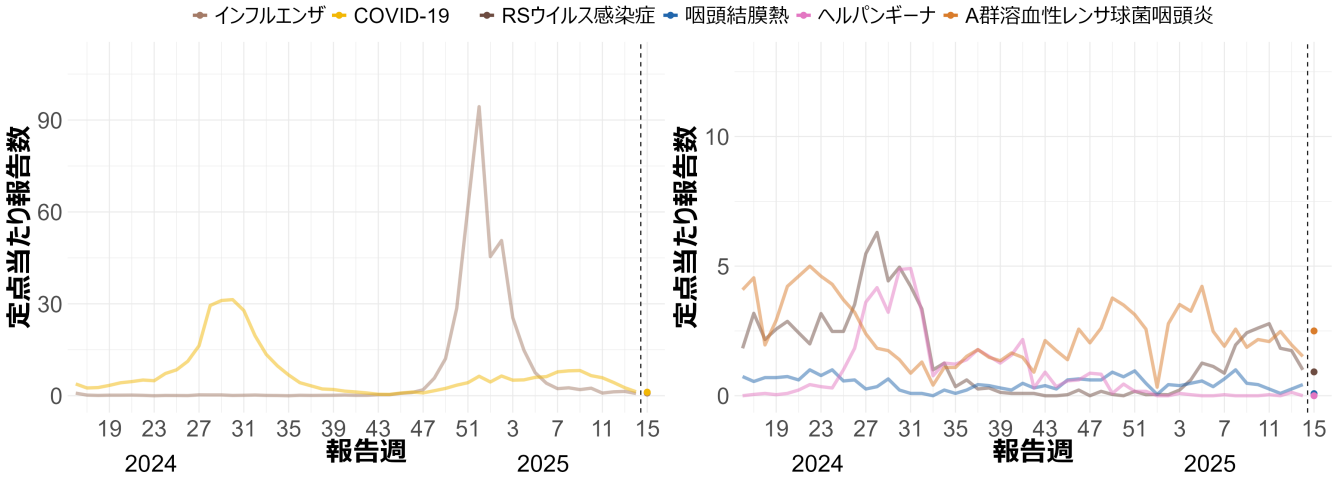
高知県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
90
60
30
0
10
5
0
19 23 27 31 35 39 43 47 51 3 7 11 15
2024
報告週
2025

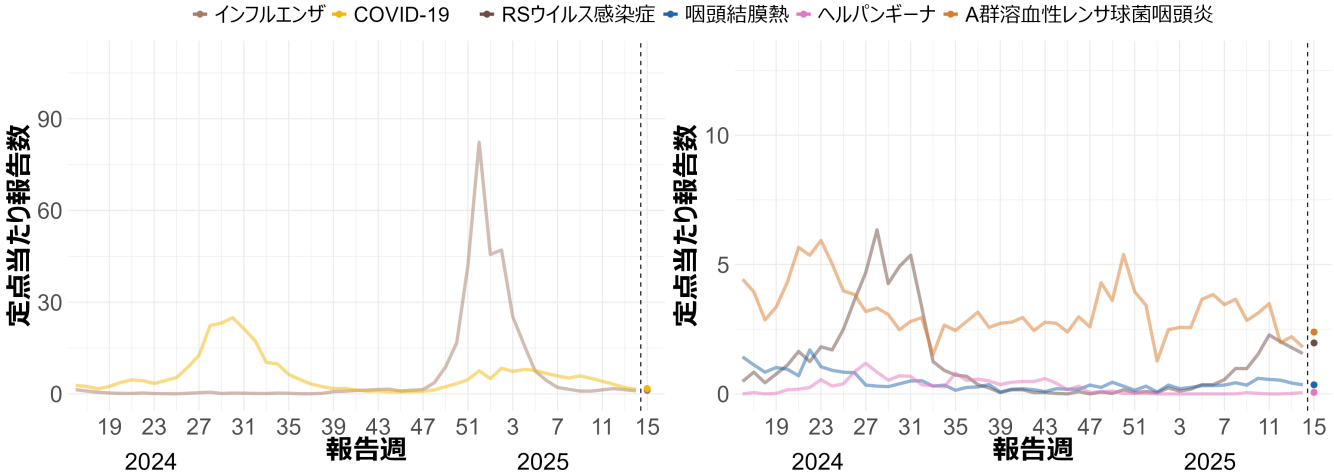
福岡県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

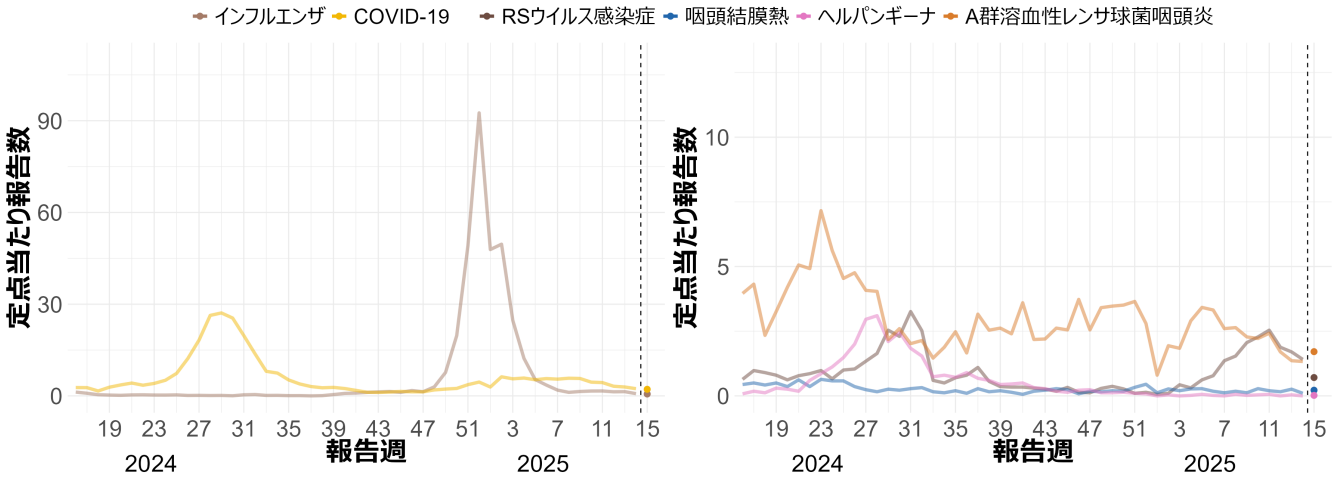
佐賀県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

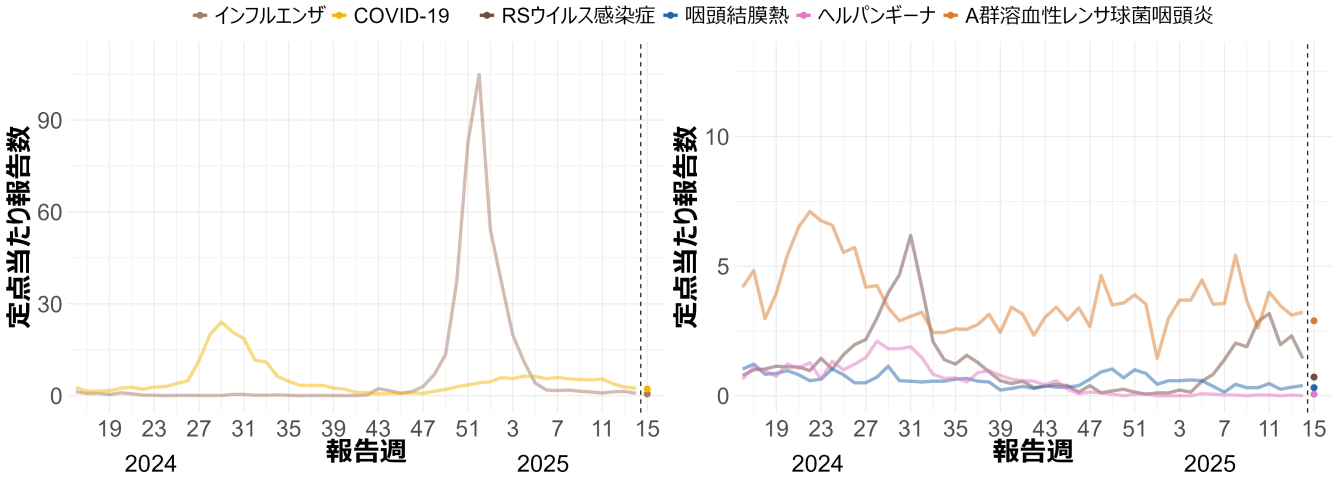
長崎県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

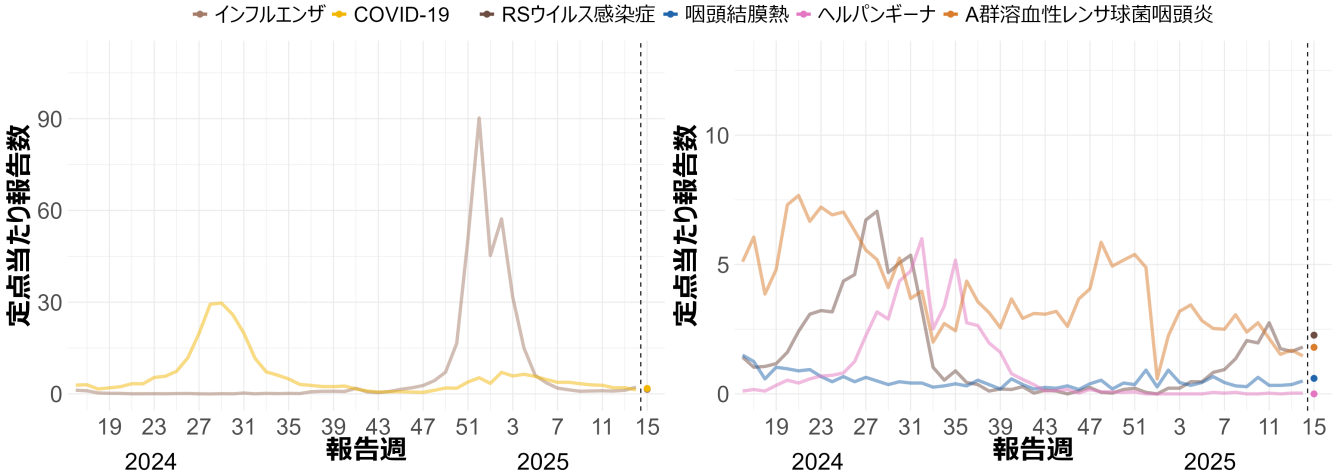
熊本県

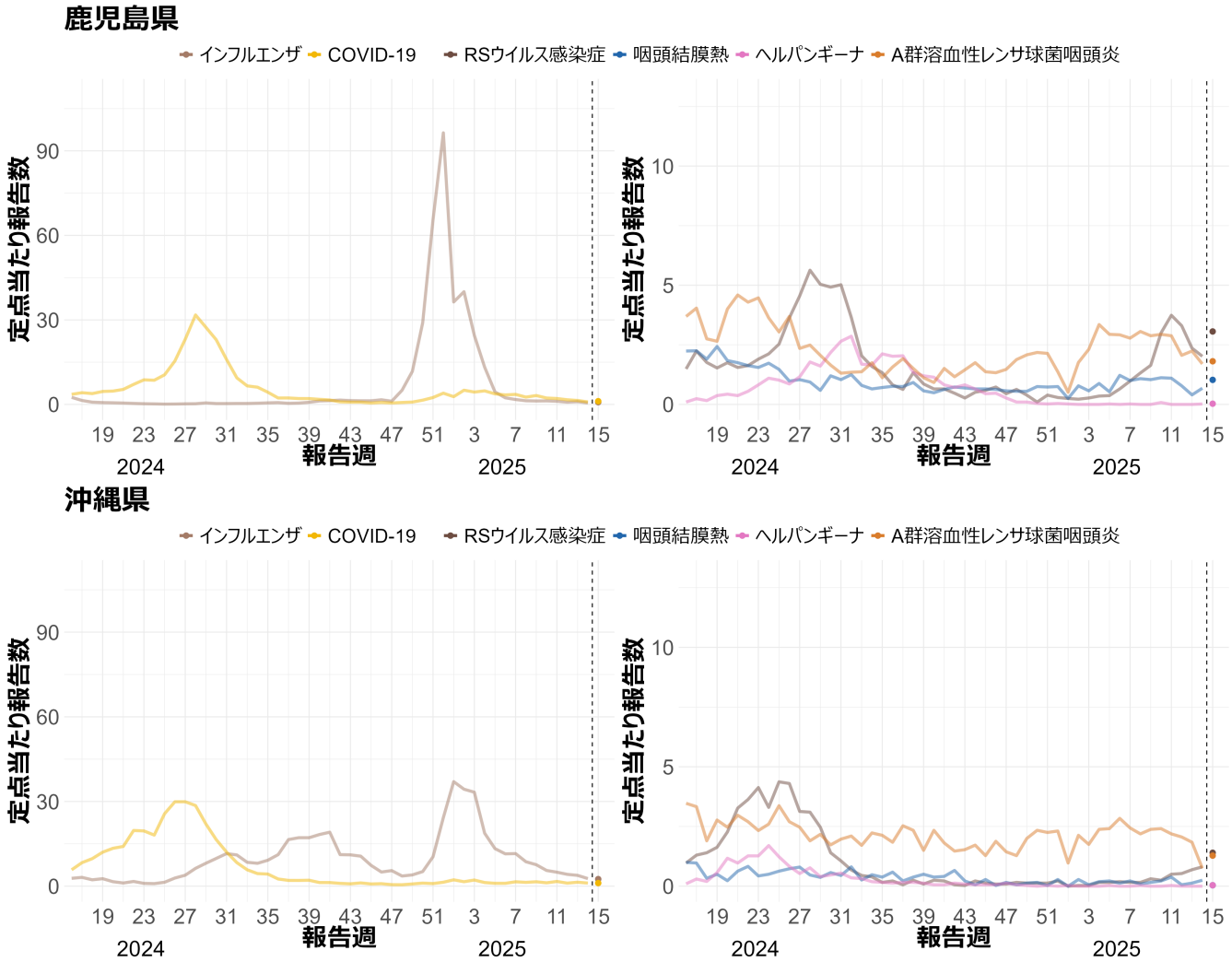

インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

大分県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025

宮崎県


インフルエンザ
COVID-19
RSウイルス感染症
咽頭結膜熱
ヘルパンギーナ
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり報告数
報告週
2024
2025



出典: 感染症発生動向調査(2025 年 4 月 16 日時点, データ範囲: 2024 年 4 月 15 日～2025 年 4 月 13 日)

注)報告数は、当該週の IDWR で還元したデータの再掲である。
注)定点数の変更をうけて、2025 年第 14 週および第 15 週の間に点線を入れ、濃淡で区別している。
注)2025 年 4 月 7 日(第 15 週)より、感染症発生動向調査事業実施要綱上の定点の選定基準が変更され、インフルエンザ/COVID-19 定点(約 5,000 医療機関)から急性呼吸器感染症定点(約 3,000 医療機関)に変更、小児科定点は約 3,000 医療機関から約 2,000 医療機関に変更された。